

令和2年度エコライフチェック事業報告書

ー ストップ！地球温暖化 ねりま大作戦 2020 ー



練馬区公式アニメキャラクター ©練馬区

ねりま
NERIMARU

令和3年3月

練馬区民環境行動連絡会

練 馬 区

—目 次—

1 エコライフチェック事業の目的と概要.....	1
1.1 事業の目的.....	1
1.2 事業の経緯.....	1
1.2.1 練馬区のこれまでの取組.....	1
1.2.2 令和2年度の取組.....	2
1.3 事業の概要.....	4
1.3.1 エコライフチェック事業の進め方.....	4
1.3.2 エコライフチェック項目.....	7
1.3.3 回答方法.....	9
1.3.4 集計・分析方法.....	10
2 個人用エコライフチェックの結果.....	12
2.1 全チェック項目の実施率の総括.....	12
2.2 各チェック項目の実施率.....	14
2.2.1 参加者全体の各チェック項目の実施率.....	14
2.2.2 学年別の各チェック項目の実施率.....	19
2.2.3 同一参加者の普段の日の実施率の昨年度からの変化.....	21
2.3 二酸化炭素排出削減量.....	24
2.3.1 令和2年度個人用エコライフチェックの二酸化炭素排出削減量.....	24
2.3.2 二酸化炭素排出削減量の例え.....	25
2.4 啓発項目のエコライフチェック結果.....	27
3 事業所用エコライフチェックの結果.....	28
3.1 各チェック項目の実施率.....	28
3.1.1 各チェック項目の実施率について.....	28
3.2 二酸化炭素排出削減量.....	32
3.3 年間の節約金額.....	32
4 令和2年度成果の整理.....	33
4.1 エネルギー（ガソリン）削減量.....	33
4.2 令和2年度エコライフチェック事業の成果一覧.....	34
5 まとめ.....	35
5.1 令和2年度のエコライフチェック事業の成果.....	35
5.2 今後の事業実施に向けた課題.....	37

資料編

<個人用エコライフチェック>

1	個人用エコライフチェック項目ごとの実施率	41
2	個人用エコライフチェック項目ごとの二酸化炭素排出削減量	42
3	個人用エコライフチェック項目ごとのガソリン削減量	43
4	令和2年度個人用エコライフチェックシート・チェックレポート	44
5	1日の二酸化炭素排出削減量・ガソリン削減量の算出根拠	50
6	二酸化炭素排出削減量の例えに関する根拠	53

<事業所用エコライフチェック>

7	事業所用エコライフチェック項目ごとの実施率・二酸化炭素排出削減量 ・光熱費等年間節約金額・ガソリン削減量	54
8	令和2年度事業所用エコライフチェックシート	55
9	1日の二酸化炭素排出削減量・年間節約金額・ガソリン削減量の算出根拠	57

1 エコライフチェック事業の目的と概要

1.1 事業の目的

エコライフチェック事業は、区民の日常生活におけるエコライフ（環境に配慮した行動）を促進することにより、地球温暖化防止のための足元からの行動を広げることが目的としています。

チェックシートを使って、エコライフを意識して実行する日（エコライフデー）と普段の日のエコライフの取組状況を自己チェックします。このエコライフデーと普段の日の取組の差を集計・分析し、参加者の取組が二酸化炭素の排出削減にどのくらい効果があったかを示すことで、今後のエコライフに役立ててもらいます。

1.2 事業の経緯

1.2.1 練馬区のこれまでの取組

練馬区では、平成 17 年度にエコライフチェック事業を試験的に導入し、平成 18 年度からは、事業の対象を広げながら本格的に事業を実施しています。

チェック項目は、エネルギー（電気・ガス・ガソリン）や水の節約に関するものから、ごみの分別といった内容まで、日常生活において二酸化炭素の排出を削減し地球温暖化対策につながる取組を対象にしています。

平成 18 年度以降は毎年ほぼ同じチェック項目を設定することにより、区民のエコライフに対する取組状況の経時的な変化を調査・分析することを可能としています。

平成 23 年度は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、全国的に夏の電力供給不足が懸念されました。そのため、エコライフチェック事業も節電に特化した事業にするとともに、事業の一部を東京都教育庁が実施している『“がんばろう日本” 節電アクション月間』と連携して実施しました。

平成 24 年度は、平成 23 年度の節電に特化した内容から、もう一度“地球温暖化の防止”という事業の本来の目的に立ち返って、エコライフチェックを実施しました。そのため、平成 24 年度以降は、平成 22 年度以前とほぼ同一の実施内容となっています。

平成 26 年度からは、これまでの練馬区内の小中学生や区民が参加する「個人用」のエコライフチェックに加え、新たに区内の事業所が参加する「事業所用」のエコライフチェックを実施しています。

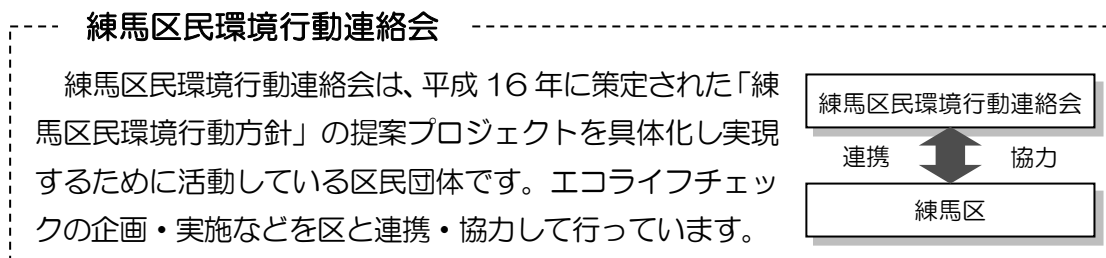
平成 28 年度からは、小中学生の学年別集計を開始しました。これにより、同一参加者の経時変化（エコライフの定着度）が分析できるようになりました。

平成 30 年度は、これまでのエコライフチェック事業の結果を活かした取組として、小学生向けの「すごろく」を作成し、練馬区内の公立小学校の 3 年生～6 年生の各クラスに 1 セットずつ配布しました。「すごろく」をとおして、楽しみながらエコライフを学んで頂くことで、エコライフをより身近に感じてもらうことができます。

令和元年度、令和 2 年度は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員

会が実施している「東京 2020 参画プログラム(持続可能性)」に参加して、東京 2020 大会の公式 HP における事業実施の報告など、区内外の方への周知を図りました。

本事業は、区民団体「練馬区民環境行動連絡会」のご協力をいただいて実施しています。



1.2.2 令和2年度の取組

令和2年度は、昨年度と同様に練馬区内の小中学生や区民が参加する「個人用」のエコライフチェックと、区内の事業所が参加する「事業所用」のエコライフチェックを実施しました。

個人用エコライフチェックでは、全体で 42,225 人が参加しました（下表参照）。そのうち小中学生が 26,070 人で全体の約 6 割を占めており、次いで小中学生の家族、一般参加者の順に多くなっています。

詳細な事業の進め方や経緯、参加の呼びかけ方法については P4～P11 の事業の概要で説明します。

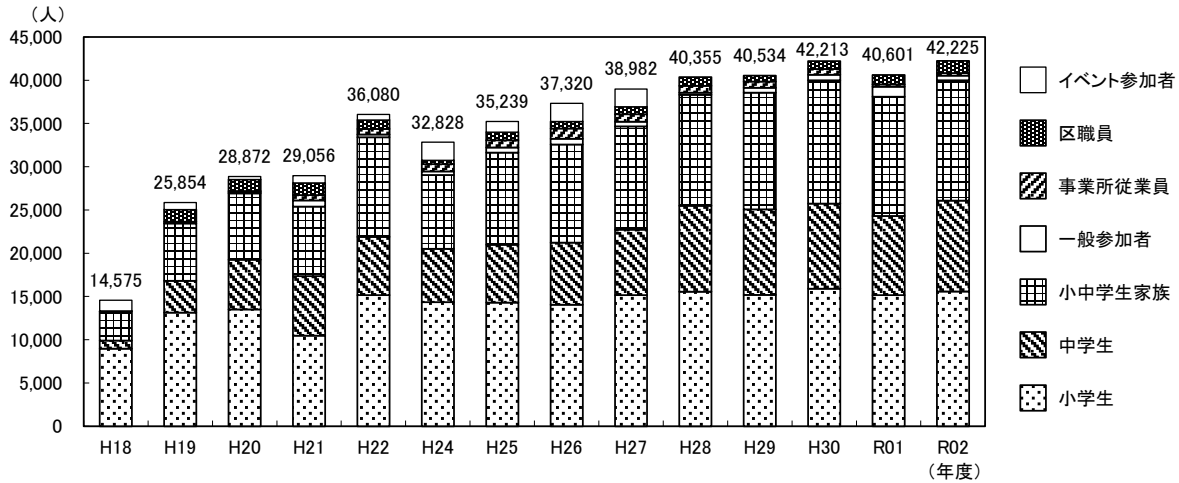
令和2年度個人用エコライフチェックの参加人数

区 分	参加人数	構成比
小中学生	26,070 人	61.7%
うち 小学生	15,578 人	36.9%
うち 中学生	10,492 人	24.8%
高校生以上・大人	16,155 人	38.3%
うち 小中学生の家族	13,911 人	32.9%
うち 一般参加者 <small>注)</small>	556 人	1.3%
うち 区内事業所の従業員	297 人	0.7%
うち 区職員	1,391 人	3.3%
合 計	42,225 人	100.0%

注) 「一般参加者」には、ホームページなどで回答いただいた方、各種団体を通じて回答いただいた方を含みます。

個人用エコライフチェック事業の参加者数は、本格的に事業を開始した平成 18 年度以降増加傾向にあります。平成 18 年度に 14,575 人であった参加者は、令和 2 年度には 42,225 人まで増加しました。この間、平成 24 年度に一時減少しましたが、その後は概ね増加傾向にあり、令和 2 年度には過去最多の参加者を記録しました。区民のみなさんのエコライフに対する意識の高まりがうかがえます。

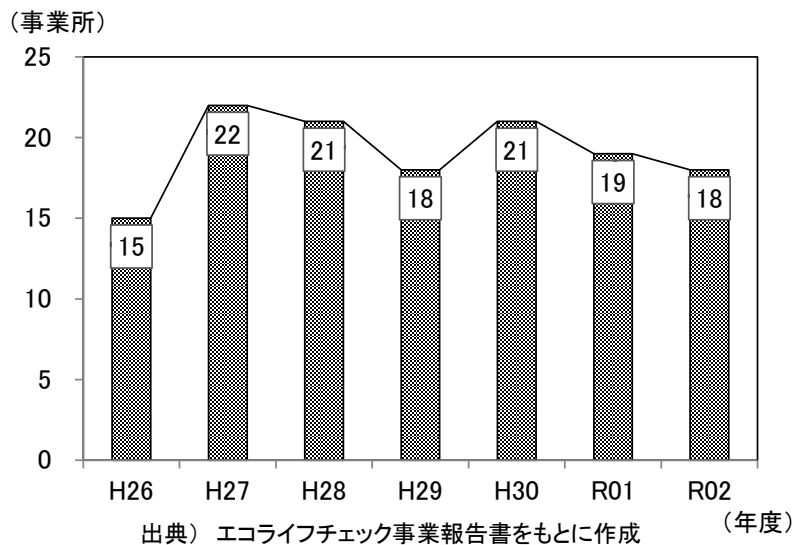
エコライフチェック事業の参加人数の推移



注) 平成 23 年度のエコライフチェックは、東京都の「節電アクション月間」とあわせて実施しているため実施方法が異なります。そのため、グラフにおいて平成 23 年度の参加人数は省略しています。

事業所用エコライフチェックでは、合計 18 事業所の参加がありました。来年度以降、さらに事業所の参加を呼びかけていきたいと考えています。

事業所用エコライフチェック参加事業所数の推移

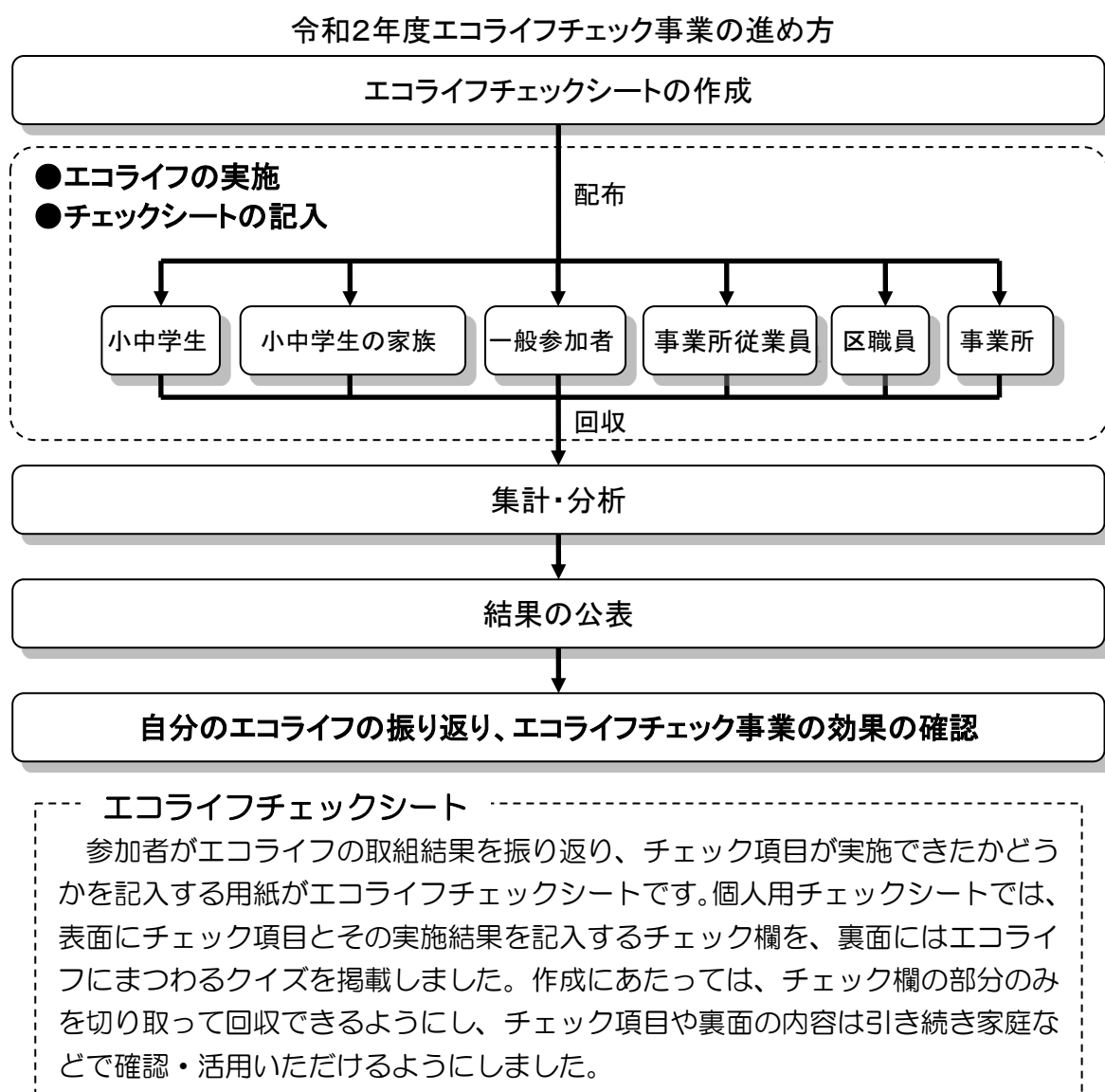


1.3 事業の概要

1.3.1 エコライフチェック事業の進め方

令和2年度のエコライフチェック事業の進め方は以下のとおりです。区が作成したエコライフチェックシートを区内の小中学生およびその家族、一般の参加者などに配布し、普段の日とエコライフデーのエコライフの実施状況を記入していただきます。

記入したチェックシートは回収して、集計・分析し、その結果を公表することで、参加者のみなさんに自分のエコライフを振り返っていただけるようにするとともに、本事業による二酸化炭素排出削減量等を実感し、引き続き日常生活の中でエコライフの取組に生かせる形としています。



事業所用チェックシートでは、表面には事業所用エコライフチェックを始めるに至った経緯やチェックシートの記入方法を、裏面にはチェック項目とその実施結果を記入するチェック欄を掲載し、そのままFAX送付できるようにしました。

令和2年度に使用した個人用チェックシートはP44～P47、チェックレポートはP48～P49、事業所用チェックシートはP55～P56を参照してください。

令和2年度のエコライフチェック事業のスケジュールは以下のとおりです。令和2年10月のエコライフチェック実施に向けて令和2年4月から準備を開始し、令和3年2～3月には結果を公表できるようなスケジュールで進めました。

令和2年度エコライフチェック事業のスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エコライフチェック関係	エコライフチェック項目の検討	チェックシートの作成		エコライフチェックの実施	チェックシートの回収	データの集計・分析	事業報告書および報告書概要版の作成 学校等参加団体への事業報告書の送付					
公式ホームページ関係			公式ホームページでの回答受付					公式ホームページでの結果報告				

参加対象とその呼びかけ方法は次ページのとおりです。区内の小中学生を中心に、区内のさまざまな団体・個人に対して参加を呼びかけました。

令和2年度エコライフチェック事業の参加の呼びかけ対象と方法

属性	具体的な対象者	参加の呼びかけ方法
小学生 (3・4・5・6年生)	<ul style="list-style-type: none"> 区立の全小学校の児童 区内の国立・都立・私立小学校のうち参加を希望した学校の児童 区内の特別支援学校のうち、参加を希望した学校の児童 	<ul style="list-style-type: none"> 合同副校長会における各学校への説明と参加依頼(7月・区立学校向け) 区職員による担当教諭への事前説明(7月～8月) 学校を通じて児童に参加を呼びかけ 各学校への直接の参加の呼びかけ(私立学校向け)
中学生 (1・2・3年生)	<ul style="list-style-type: none"> 区立の全中学校の生徒 区内の国立・都立・私立中学校のうち参加を希望した学校の生徒 区内の特別支援学校のうち、参加を希望した学校の生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 合同副校長会における各学校への説明と参加依頼(7月・区立学校向け) 区職員による担当教諭への事前説明(7月～8月) 学校を通じて生徒に参加を呼びかけ 各学校への直接参加の呼びかけ(私立学校向け)
小中学生の家族	<ul style="list-style-type: none"> 上記小中学校の児童・生徒の家族 	<ul style="list-style-type: none"> 学校を通じて参加を呼びかけ
一般参加者	<ul style="list-style-type: none"> 一般区民 練馬区公式ホームページ閲覧者 	<ul style="list-style-type: none"> 各団体を通じて参加を呼びかけ 区報および区公式ホームページによる参加の呼びかけ 区公式ホームページ上での回答の受付 区公式ツイッターでの参加の呼びかけ 区立施設でチェックシートを配布 刊行物に呼びかけ記事を掲載 会議等の場で呼びかけチラシを配布
事業所従業員	<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センターなどの区内事業所に所属する従業員 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所を通じて参加を呼びかけ
区職員	<ul style="list-style-type: none"> 練馬区職員(臨時職員、派遣職員を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> グループウェアにて参加を呼びかけ
事業所	<ul style="list-style-type: none"> 一般事業者 練馬区外郭団体 	<ul style="list-style-type: none"> 区報および区公式ホームページによる参加呼びかけ 直接の呼びかけ

1.3.2 エコライフチェック項目

令和2年度のエコライフチェック項目は、個人用と事業所用のそれぞれを以下のよう
に作成しました。

(1) 個人用エコライフチェック項目

個人用エコライフチェック項目は、以下の方針のもとに作成しました。

- エネルギー削減量が算出できること
- エコライフチェック事業の継続性を重視し、チェック項目12項目のうち10項目程度は今年度も継続すること
- 近年のエネルギー消費の推移をもとに、電気・燃料・水道・ごみのエネルギー構成のバランスを考慮すること
- 家庭での取り組みやすさに着目した新規項目を追加すること

チェック項目の設定にあたっては、チェック項目検討会を開催し、区民団体「練馬区民環境行動連絡会」からの意見を取り入れました。その結果、令和2年度の個人用エコライフチェック項目は以下の12項目としました。

令和2年度個人用エコライフチェック項目

番号	チェック項目	どのような効果があるか？	1日の二酸化炭素排出削減量 ^{注)}	備考
Q1	テレビをつけている時間を少なくした	電気の 使用量削減	21g/日	
Q2	長時間使わない電気器具のコードをコンセントから抜いた	電気の 使用量削減	62g/日	
Q3	フロアモップを使って掃除機の使用時間を短くした	電気の 使用量削減	20g/日	
Q4	買い物するときにマイバッグを持って行った	ごみの 排出量削減	31g/日	表現変更
Q5	冷蔵庫の扉を開けている時間を短くした	電気の 使用量削減	8g/日	
Q6	冷房の設定温度を1℃上げた	電気の 排出量削減	38g/日	新規項目
Q7	食事や給食を残さずに食べた	燃料・ごみの 排出量削減	44g/日	
Q8	手洗い中、水を出しっぱなしにしなかった	水道の 使用量削減	20g/日	新規項目
Q9	入浴後はお風呂のフタを閉めた	燃料の 使用量削減	107g/日	
Q10	ドライヤーの前にタオルで髪をしっかりと拭いて乾かした	電気の 使用量削減	27g/日	
Q11	マイボトルを持ち歩いた	ごみの 排出量削減	69g/日	
Q12	近いところへは車に乗らないで、歩きか自転車で行った	燃料の 使用量削減	266g/日	

注1) Q4は昨年度の「買い物するときにレジ袋をもらわなかった」から文言を修正しています。計算根拠等は昨年度と同様です。

注2) 詳しい算出方法は、P50～P52を参照してください。1日の二酸化炭素排出削減量は最新の知見に基づいて算出しているため、同じ項目でも毎年の1日の二酸化炭素排出削減量は異なります。

また、環境全般に対する啓発項目として、小中学生を対象に以下の3つの質問を設け、回答していただきました。

令和2年度エコライフチェック項目(啓発項目)

番号	チェック項目	啓発目的	備考
質問 1	プラスチックごみ削減のため、レジ袋が有料になったことを知っている。	プラスチックごみ減量への意識を高めてもらう	新規項目
質問 2	国内の電気のほとんどは火力発電であることを知っている	節電と二酸化炭素排出量削減の関係性を知ってもらう	令和元年度と同じ
質問 3	23区で1番緑があるのは練馬区であることを知っている	自然環境に対して関心を持ってもらう	令和元年度と同じ

(2) 事業所用エコライフチェック項目

事業所用エコライフチェック項目は、以下の方針のもとに作成しました。

- エネルギー削減量が算出できること
- 取り組みやすいこと
(環境経営等に着手していない事業所でも気軽に取り組めること)
- 業種、業態を選ばずに取り組めること
- 二酸化炭素の排出削減量が定量的に評価できること
→ 個人用と同様に「普段の日」と「エコライフデー」の実施率や二酸化炭素の排出削減量、およびそれらの差が算出できること

チェック項目の設定にあたっては、個人用エコライフチェック項目と同様に、チェック項目検討会を開催し、区民団体「練馬区民環境行動連絡会」からの意見を取り入れました。その結果、令和2年度の事業所用エコライフチェック項目は次ページの7項目としました。

令和2年度事業所用エコライフチェック項目

番号	チェック項目	どのような効果があるか？	1日の二酸化炭素排出削減量 ^{注2)}	備考
Q1	使用していないエリア(会議室、事務室、休憩室等)や不要な場所(駐車場、外部照明等)は消灯した	電気の 使用量削減	3.3g-CO ₂ /m ² ・日	令和元年度と 同じ 要 延床面積
Q2	長時間席を離れるときは、OA 機器(パソコン、コピー機)の電源を切るか、省エネルギーモードにした	電気の 使用量削減	2.2g-CO ₂ /m ² ・日	
Q3	お昼休みは、執務スペース等の照明の使用を半分程度に減らした	電気の 使用量削減	1.4g-CO ₂ /m ² ・日	
Q4	手洗いや湯飲み等を洗う際に、水*を出しっぱなしに しなかった ※1: 1人、1日当たり1分間、節水した場合	水道の 使用量削減	1.6g-CO ₂ /m ² ・日	
Q5	冷房の設定温度を2℃上げた	電気の 使用量削減	7.7g-CO ₂ /m ² ・日	
Q6	紙の使用を意識して減らした	ごみの 排出量削減	0.6g-CO ₂ /m ² ・日	
Q7	自動車の利用時にエコドライブ(ゆるやかなアクセル操作*1やアイドリングストップ*2)をした ※1: 最初の5秒で20km/hになるくらい ※2: 踏切待ちなど5秒以上停止する場合	ガソリンの 使用量削減	732.9g-CO ₂ /台・日	令和元年度と 同じ 要 社有車 保有台数

注 1) 詳しい算出方法は、P57～P58 を参照してください。1日の二酸化炭素排出削減量は最新の知見に基づいて算出しているため、同じ項目でも毎年の1日の二酸化炭素排出削減量は異なります。

1.3.3 回答方法

各チェック項目について、エコライフデーおよび普段の日に、それぞれ実施できた場合は「○」、実施できなかった場合は「×」を記入する方式で回答していただきました。

個人用エコライフチェックにおける小中学生のみが回答対象となる質問 1～3 の啓発項目は、普段の日とエコライフデーの区別に関係なく、「○」または「×」で回答していただきました。

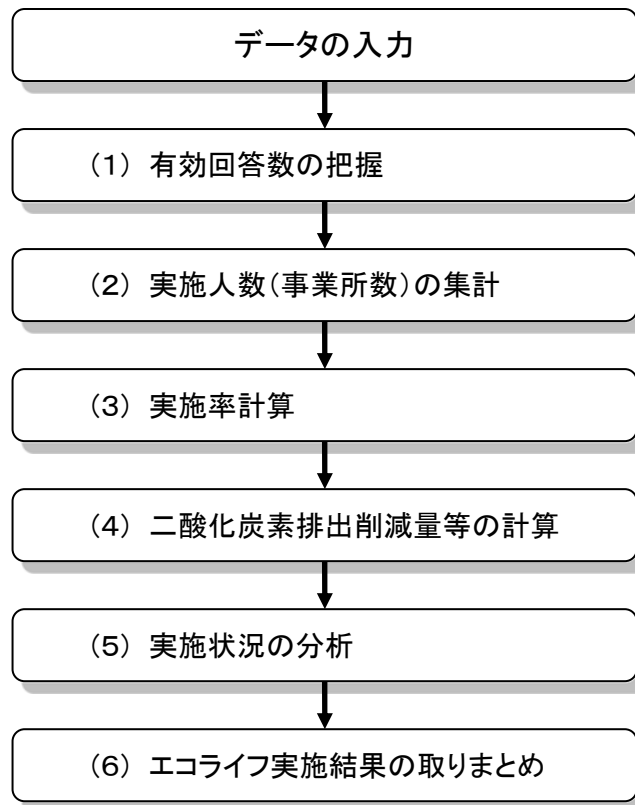
回答の記入例

エコライフデー (10月 5日)	ふだんは？	
Q1 ○	Q1 ○	普段の日もエコライフデーもできた。
Q2 ○	Q2 ×	普段の日ではできなかったが、エコライフデーはできた。
Q3 ×	Q3 ×	普段の日もエコライフデーもできなかった。
Q4	Q4	

1.3.4 集計・分析方法

回収したチェックシートの分析は以下の手順で行いました。

令和2年度エコライフチェック事業の集計・分析の流れ



(1) 有効回答数の把握

個人用エコライフチェックの参加者 42,225 人の結果について、Q1～12 のチェック項目ごとに回答の有効・無効を判別し、有効数をカウントしました（事業所用エコライフチェックにおいても同様）。

チェックシートの記入例と回答の有効・無効の判別方法

エコライフデー (10月 5日)	ふだんは？
Q1 ○	Q1 ○
Q2 ○	Q2 ×
Q3 ×	Q3 ×
Q4	Q4
Q5	Q5 ○
Q6	Q6

エコライフデーおよび普段の両方とも回答されている場合、その質問に対する回答は有効とし、実施率の計算に含める。

エコライフデーおよび普段の両方もしくはどちらか一方が無回答であったり、判別不可能である場合、その質問に対する回答については無効扱いとし、実施率の計算からも除外する。

(2) 実施人数（事業所数）の集計

チェック項目ごとに有効な回答のうちエコライフデーおよび普段の日について、「○」と回答した人数（事業所数）を集計しました。

(3) 実施率計算

チェック項目ごとに「○」と回答した人数（事業所数）を有効回答数で割ることで、各チェック項目の実施率を計算しました。

各チェック項目の実施率

＝ 各項目の有効回答のうち「○」と回答した人数（事業所数）÷ 各項目の有効回答数

(4) 二酸化炭素排出削減量等の計算

個人用エコライフチェックでは、実施人数にチェック項目ごとの1日の二酸化炭素排出削減量（P42を参照）を掛けて集計し、エコライフデーと普段の日の二酸化炭素排出削減量の差を求めることで、令和2年度の事業全体の二酸化炭素排出削減量としました。

事業所用エコライフチェックでは、それぞれの事業所のチェックシートより把握した延床面積または社有車保有台数に、チェック項目ごとの1日の二酸化炭素排出削減量（P54を参照）を掛けて集計し、エコライフデーと普段の日の二酸化炭素排出削減量の差を求めることで、二酸化炭素排出削減量としました。

【個人用エコライフチェック】

各チェック項目の二酸化炭素排出削減量

＝ 各項目の有効回答のうち「○」と回答した人数 × 1日の二酸化炭素排出削減量

【事業所用エコライフチェック】

各事業所のチェック項目の二酸化炭素排出削減量

＝ 各項目の有効回答のうち「○」と回答した項目の1日の二酸化炭素排出削減量
× 事業所の延床面積や社有車保有台数（事業者回答）

また、二酸化炭素排出削減量に加え、ガソリン削減量も同様の方法で算出しました。

(5) 実施状況の分析

普段の日とエコライフデーの実施率の変化や、過年度からの変化を分析しました。

(6) エコライフ実施結果の取りまとめ

(4)で計算した二酸化炭素排出削減量等または効果について、より実感しやすいように、さまざまな“例え”に換算して示しました。

2 個人用エコライフチェックの結果

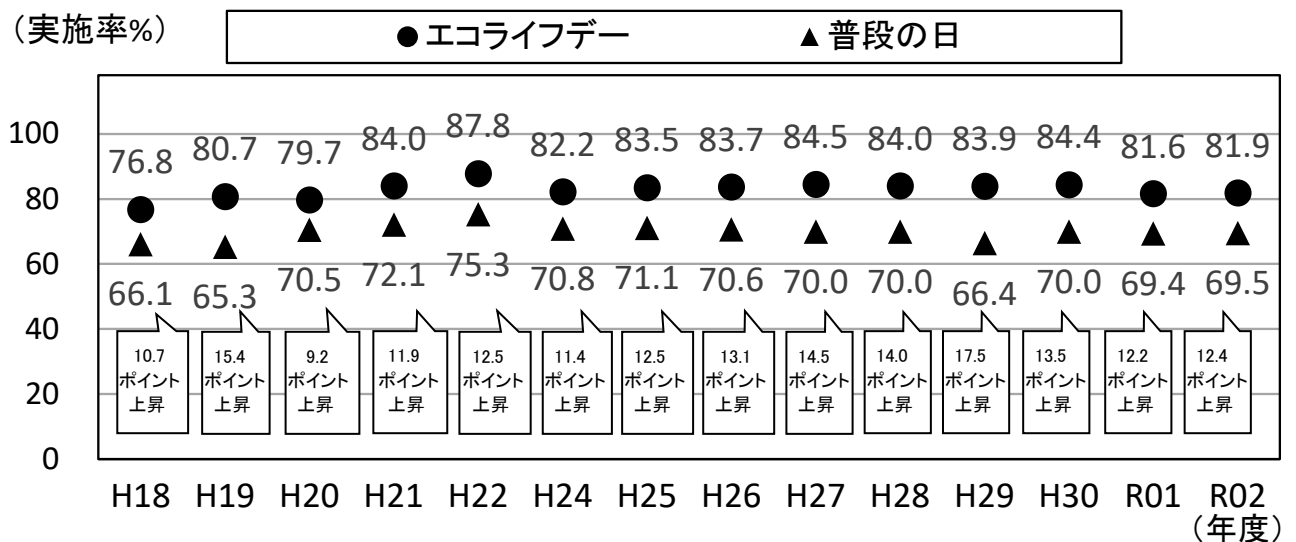
2.1 全チェック項目の実施率の総括

令和2年度の42,225人全員の全チェック項目の平均実施率は、普段の日で69.5%、エコライフデーで81.9%でした。いずれも昨年度と同じような実施率となり、平成18年度の事業開始当初と比較するとエコライフが定着してきていることが分かります。

令和2年度の普段の日とエコライフデーの実施率の差は12.4ポイントでした。平成18年度の開始以降、毎年エコライフデーは普段の日より10ポイント前後の実施率の上昇効果があります。令和2年度は昨年度より実施率の上昇が0.2ポイント大きくなりましたが、これは、普段の日の実施率が昨年度とほとんど同じで、エコライフデーの実施率が昨年度より若干増加したためです。

チェックレポートはP48～P49を参照ください。

年度別の個人用エコライフチェック実施率(全12項目の平均値)



- 注1) 小数第2位を四捨五入して記載している関係で実施率の差が一致しない箇所があります。
- 注2) 平成18年度のエコライフチェックは全10項目です。
- 注3) 平成23年度のエコライフチェックは、東京都の「節電アクション月間」とあわせて実施しており、チェック項目の質問形式が異なります。そのため、グラフ中の平成23年度の実施率は省略しています。

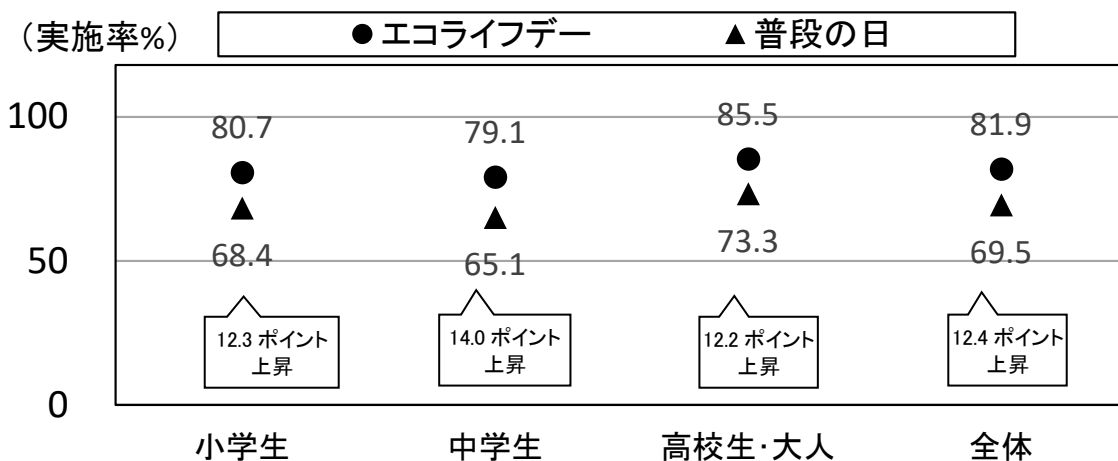


令和2年度の参加者の属性別の全チェック項目の平均実施率を見ると、小学生、中学生については、参加者全体より普段の日・エコライフデーともに平均実施率が下回っています。最もエコライフデーの実施率が高かったのは高校生・大人で85.5%、最も普段の日の実施率が高かったのも高校生・大人で73.3%でした。

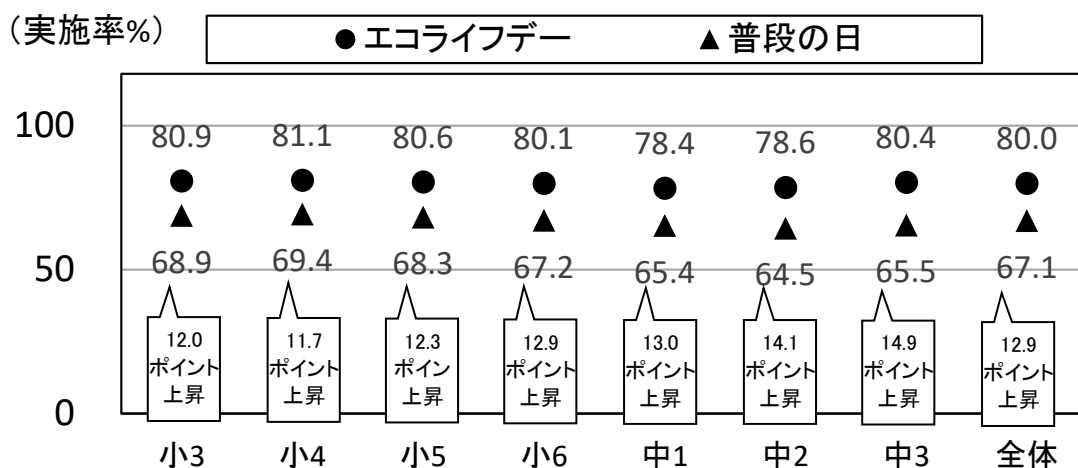
一方、最も実施率が低かったのは中学生で、エコライフデーが79.1%、普段の日は65.1%でした。しかし、普段の日とエコライフデーの実施率の変化は14.0%と、実施率の上昇が最も大きく、エコライフデーには意識して取り組んでいると言えます。

小中学生の学年別の傾向では、普段の日、エコライフデーともに小学生と比べて中学生の実施率が低いという傾向となっています。

属性別の令和2年度個人用エコライフチェック実施率(全12項目の平均)



学年別の令和2年度個人用エコライフチェック実施率(全12項目の平均値)

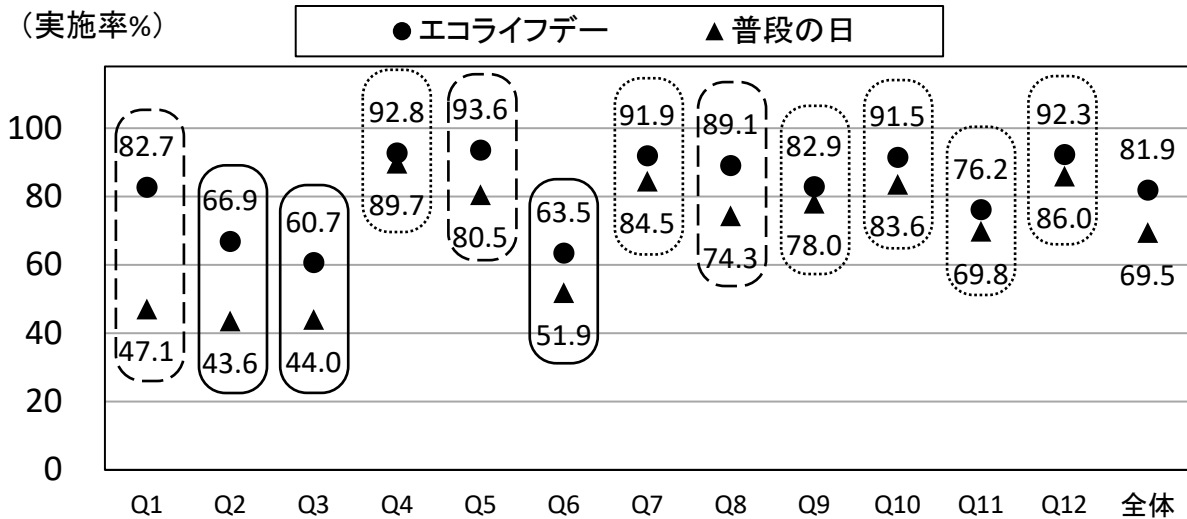


2.2 各チェック項目の実施率

2.2.1 参加者全体の各チェック項目の実施率

チェック項目別の実施率は次に示すとおりです。

チェック項目別の令和2年度個人用エコライフチェック実施率(参加者全体の平均値)



【凡例】

- ⋯⋯分類A 普段の日もエコライフデーも実施率が高い項目
(普段・エコライフデーの実施率がともに70%以上で、普段の日・エコライフデーの実施率の変化が10%未満の項目)
- ⋯⋯分類B 普段の日もエコライフデーも実施率が低い項目
(普段・エコライフデーともに実施率が70%未満の項目)
- ⌋⋯⋯分類C 普段の日と比べてエコライフデーの実施率が大きく上昇している項目
(エコライフデーの実施率が70%以上で、普段・エコライフデーの実施率の変化が10%以上の項目)

Q1	テレビをつけている時間を少なくした	Q7	食事や給食を残さずに食べた
Q2	長時間使わない電気器具のコードをコンセントから抜いた	Q8	手洗い中、水を出しっぱなしにしなかった
Q3	フロアモップを使って掃除機の使用時間を短くした	Q9	入浴後はお風呂のフタを閉めた
Q4	買い物するときにマイバッグを持って行った	Q10	ドライヤーの前にタオルで髪をしっかりと拭いて乾かした
Q5	冷蔵庫の扉を開けている時間を短くした	Q11	マイボトルを持ち歩いた
Q6	冷房の設定温度を1℃上げた	Q12	近いところへは車に乗らないで、歩きか自転車で行った

全ての項目でエコライフデーの実施率が普段の日より上昇しており、エコライフデーを意識することで普段以上にエコライフに取り組んでいることが分かります。実施率や、普段の日とエコライフデーとの実施率の差は、チェック項目ごとに傾向が異なります。実施率の高さや、普段の日とエコライフデーとの実施率の差の観点から、12のチェック項目は概ね以下の3つのグループに分類されます。

分類A：普段の日もエコライフデーも実施率が高い項目
(Q4, Q7, Q9, Q10, Q11, Q12)

分類B：普段の日もエコライフデーも実施率が低い項目 (Q2, Q3, Q6)

分類C：普段の日と比べてエコライフデーの実施率が大きく上昇している項目
(Q1, Q5, Q8)

(1) 分類A 普段の日もエコライフデーも実施率が高い項目の分析

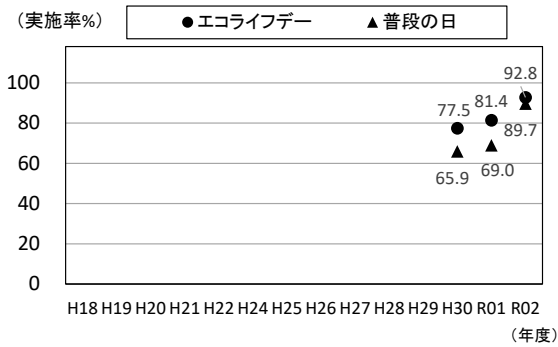
普段の日もエコライフデーも実施率が高い傾向がみられるのは、以下の6項目です(普段・エコライフデーの実施率がともに70%以上で、普段の日・エコライフデーの実施率の変化が10%未満の項目を抽出しています)。

番号	チェック項目	エコライフデーの実施率	普段の日の実施率	実施率の差
Q4	買い物するときにマイバッグを持って行った	92.8%	89.7%	3.1 ポイント
Q7	食事や給食を残さずに食べた	91.9%	84.5%	7.4 ポイント
Q9	入浴後はお風呂のフタを閉めた	82.9%	78.0%	4.9 ポイント
Q10	ドライヤーの前にタオルで髪をしっかりと拭いて乾かした	91.5%	83.6%	7.9 ポイント
Q11	マイボトルを持ち歩いた	76.2%	69.8%	6.4 ポイント
Q12	近いところへは車に乗らないで、歩きか自転車で行った	92.3%	86.0%	6.3 ポイント

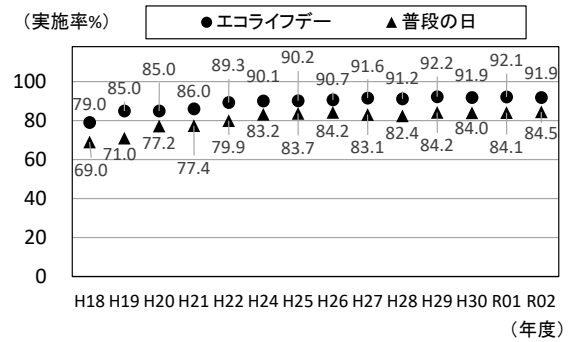
- Q7、Q9、Q10 は誰でも日常の生活場面で取り組める機会が多い項目であり、取り組む意識が定着していることが分かります。
- Q4、Q11 については、昨年度と比べて、普段の日・エコライフデーともに実施率が10ポイント以上増加しています。Q4 については、レジ袋有料化の影響により、取り組む意識が向上していることが考えられます。
- Q12 については、家庭内で協力して実施することで、家族にも取り組む意識が広がることが期待されます。
- 実施率の経年変化をみると、多少の変動はあるものの、今年度大幅に実施率が上昇した項目(Q4、Q11)を除いて、毎年高い実施率を維持していることが分かります。

チェック項目別実施率の経年変化(Q4, Q7, Q9, Q10, Q11, Q12)

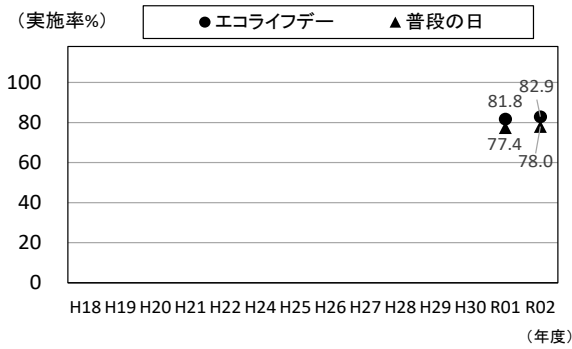
Q4 買い物するときにマイバッグを持って行った



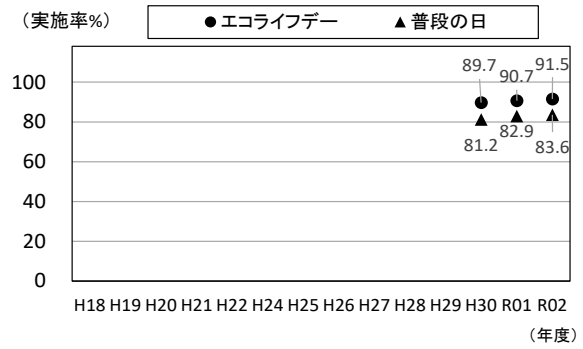
Q7 食事や給食を残さずに食べた



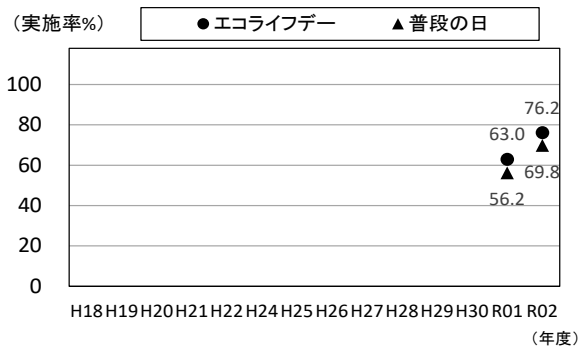
Q9 入浴後はお風呂のフタを閉めた



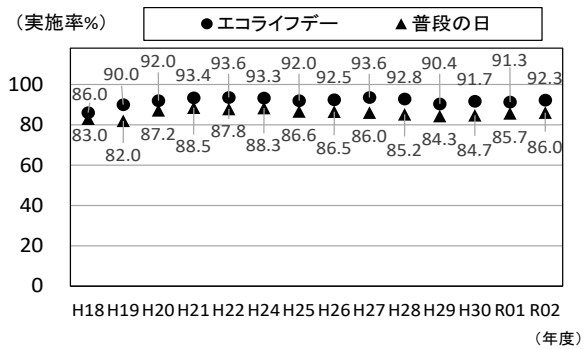
Q10 ドライヤーの前にタオルで髪をしっかりと拭いて乾かした



Q11 マイボトルを持ち歩いた



Q12 近いところへは車に乗らないで、歩きか自転車でいった



- 注1) チェック項目は毎年一部を変更して実施しているため、過去に実施していない年度があるチェック項目についてはグラフ中の該当箇所を空欄にしています。
- 注2) 平成23年度のエコライフチェックは、東京都の「節電アクション月間」とあわせて実施しており、チェック項目の質問形式が異なります。そのため、グラフ中の平成23年度の実施率は省略しています。

(2) 分類B 普段の日もエコライフデーも実施率が低い項目の分析

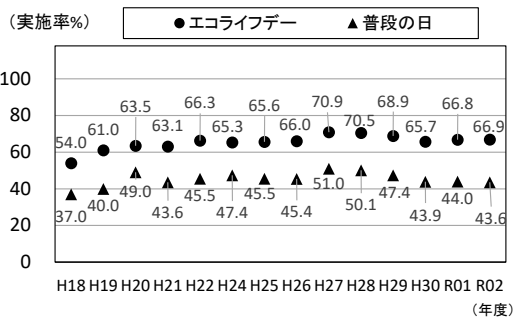
普段の日もエコライフデーも実施率が低い傾向がみられるのは、以下の項目です
(普段・エコライフデーともに実施率が70%未満の項目を抽出しています)。

番号	チェック項目	エコライフデーの実施率	普段の日の実施率	実施率の差
Q2	長時間使わない電気器具のコードをコンセントから抜いた	66.9%	43.6%	23.3 ポイント
Q3	フロアモップを使って掃除機の使用時間を短くした	60.7%	44.0%	16.7 ポイント
Q6	冷房の設定温度を1℃上げた	63.5%	51.9%	11.6 ポイント

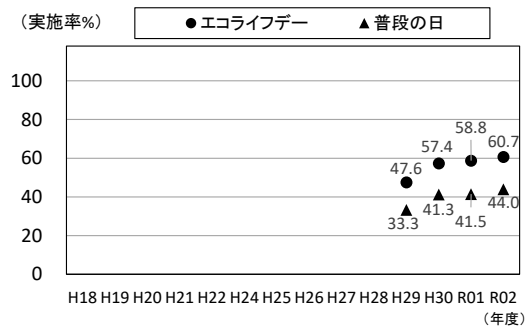
- ・ Q2は、昨年度より実施率がわずかに高くなりましたが、平成27年度から実施率がやや低下傾向にある項目であり、今後、特に啓発する必要がある項目です。
- ・ Q3は、平成29年度からの新規項目ですが、エコライフデー、普段の日ともに平成29年度以降、毎年実施率が上昇しています。今後も継続して啓発し、実施率の向上を図る必要があります。
- ・ Q6は、今年度からの新規項目ですが、エコライフデー、普段の日ともに実施率が低いです。気温や体調に留意しつつ、実施率の向上を図る必要があります。

チェック項目別実施率の経年変化(Q2, Q3, Q6)

Q2 長時間使わない電気器具をコンセントから抜いた



Q3 フロアモップを使って掃除機の使用時間を短くした



Q6 冷房の設定温度を1℃上げた



注1) チェック項目は毎年一部を変更して実施しているため、過去に実施していない年度があるチェック項目についてはグラフ中の該当箇所を空欄にしています。

注2) 平成23年度のエコライフチェックは、東京都の「節電アクション月間」とあわせて実施しており、チェック項目の質問形式が異なります。そのため、グラフ中の平成23年度の実施率は省略しています。

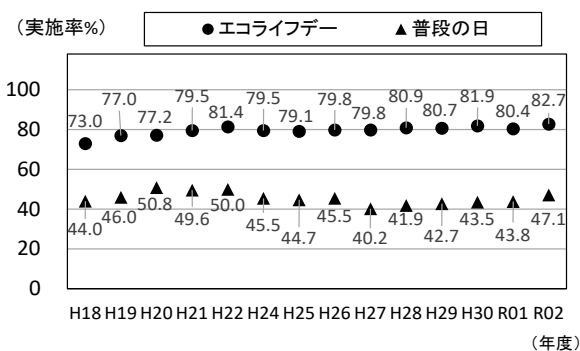
- (3) 分類C 普段の日と比べてエコライフデーの実施率が大きく上昇している項目の分析
 普段の日と比べてエコライフデーの実施率が大きく上昇する傾向がみられるのは、
 以下の3項目です（エコライフデーの実施率が70%以上で、普段・エコライフデーの
 実施率の変化が10%以上の項目を抽出しています）。

番号	チェック項目	エコライフデー の実施率	普段の日の 実施率	実施率の差
Q1	テレビをつけている時間を少なくした	82.7%	47.1%	35.6 ポイント
Q5	冷蔵庫の扉を開けている時間を短くした	93.6%	80.5%	13.1 ポイント
Q8	手洗い中、水を出しっぱなしにしなかった	89.1%	74.3%	14.8 ポイント

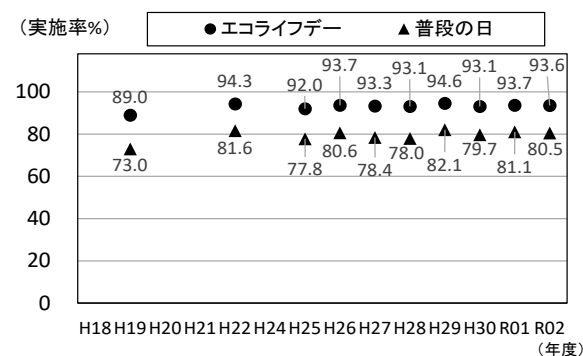
- Q1 の実施率の差が 35.6 ポイントと全項目中で最も高いことをはじめ、これらの 3 項目はいずれもエコライフデーに実施率が大きく上昇する傾向があります。経年変化をみると、エコライフデーに実施率が大きく上昇する傾向にあまり変化はありません。
- Q1 については、強く意識することで実施することはできますが、普段の生活では十分に定着していないと考えられます。エコライフデーにおける取組をきっかけとして、普段の日の実施率向上を図る必要があります。
- Q5、Q8 は、エコライフデー、普段の日ともに実施率が高くなっていますが、今後も継続して啓発することで普段の日の実施率をさらに向上させる必要があります。

チェック項目別実施率の経年変化 (Q1, Q5, Q8)

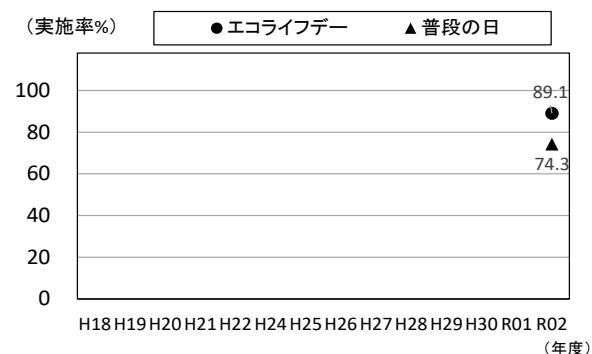
Q1 テレビをつけている時間を少なくした



Q5 冷蔵庫の扉を開けている時間を短くした



Q8 手洗い中、水を出しっぱなしにしなかった



注1) チェック項目は毎年一部を変更して実施しているため、過去に実施していない年度があるチェック項目についてはグラフ中の該当箇所を空欄にしています。

2.2.2 学年別の各チェック項目の実施率

小中学生の学年別のチェック項目別の実施率は次に示すとおりです。

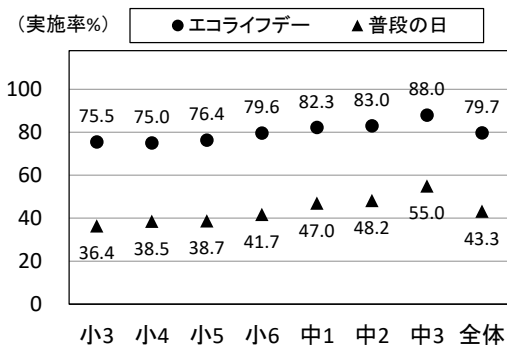
Q1 と Q9 は学年が上がるにつれて実施率が概ね高くなっていますが、多くのチェック項目では学年が上がっても実施率が下がるか変化しない結果となっています。Q2 と Q6、Q11 は、小学生と比べて、中学生の実施率が低下していることが特徴的です。特に Q11 は中学生の実施率が大幅に下がっており、中学生への啓発が重要であることがわかります。

学年によって受験の有無や趣味・嗜好の違い、給食の量など、生活のスタイルも異なるため、単純に高学年になるほど取り組む意識が低下しているとは言い切れませんが、チェック項目の多くは、少し意識するだけですぐに取り組めるものであることから、今後も学年別の傾向を把握し、学年が上がるにつれて子どもたちの意識にどのような変化がみられるか分析したうえで、必要な啓発活動を実施していく必要があります。

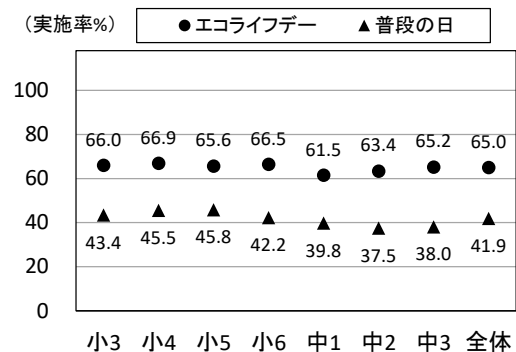
学年別のチェック項目実施率の傾向

▲ 学年が上がるにつれて実施率が高くなるチェック項目	
Q1 テレビをつけている時間を少なくした	Q9 入浴後はお風呂のフタを閉めた
▼ 学年が上がるにつれて実施率が低くなるチェック項目	
Q3 フロアモップを使って掃除機の使用時間を短くした	Q4 買い物するときにマイバッグを持って行った
■ 学年による変化があまり見られないチェック項目	
Q5 冷蔵庫の扉を開けている時間を短くした	Q7 食事や給食を残さずに食べた
Q8 手洗い中、水を出しっぱなしにしなかった	Q10 ドライヤーの前にタオルで髪をしっかりと拭いて乾かした
Q12 近いところへは車に乗らないで、歩きか自転車で行った	
★ その他の傾向のチェック項目（中学生が小学生より全体的に低い）	
Q2 長時間使わない電気器具のコードをコンセントから抜いた	Q6 冷房の設定温度を1℃上げた
Q11 マイボトルを持ち歩いた	

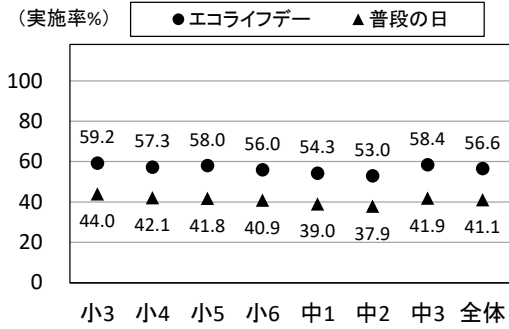
▲ Q1 テレビをつけている時間を少なくした



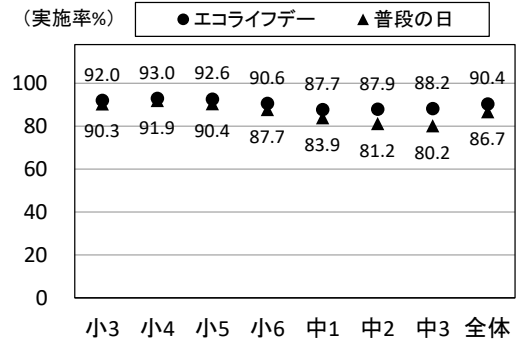
★ Q2 長時間使わない電気器具のコードをコンセントから抜いた



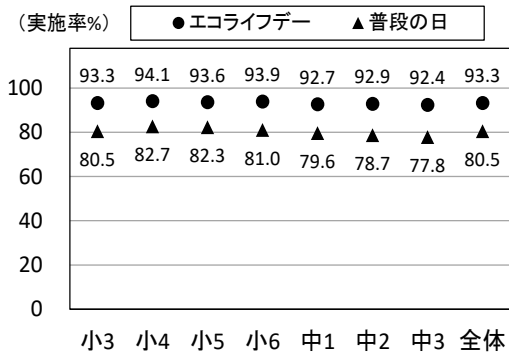
▼ Q3 フロアモップを使って掃除機の使用時間を短くした



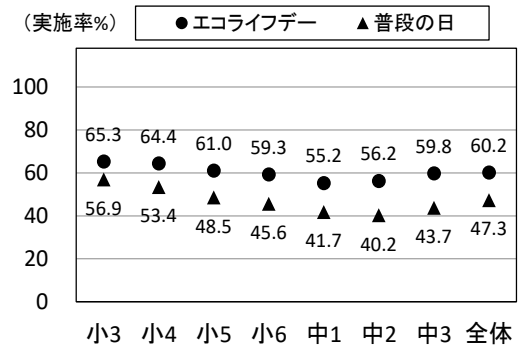
▼ Q4 買い物するときにマイバッグを持って行った



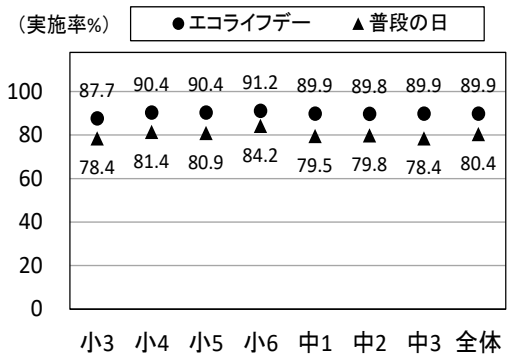
■ Q5 冷蔵庫の扉を開けている時間を短くした



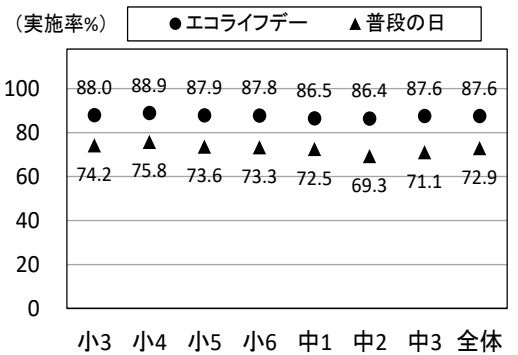
★ Q6 冷房の設定温度を1℃上げた



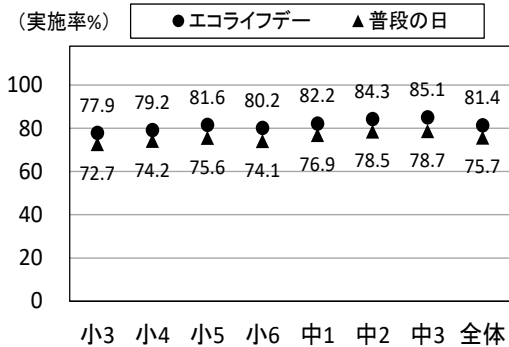
■ Q7 食事や給食を残さずに食べた



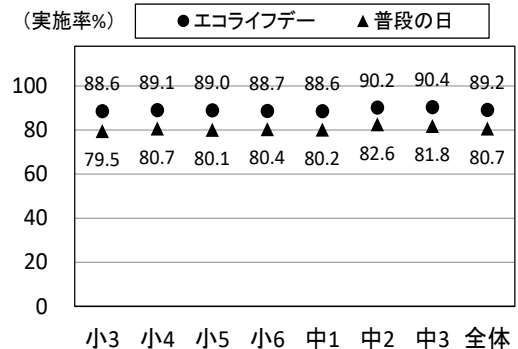
■ Q8 手洗いで、水を出しっぱなしにしなかった



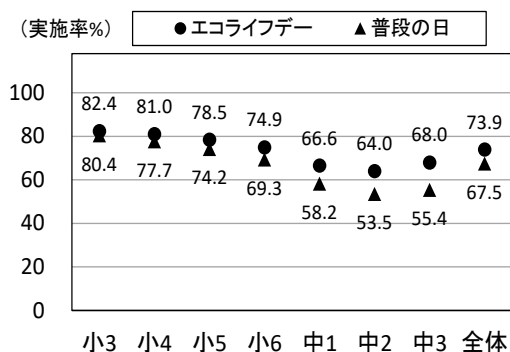
▲ Q9 入浴後はお風呂のフタを閉めた



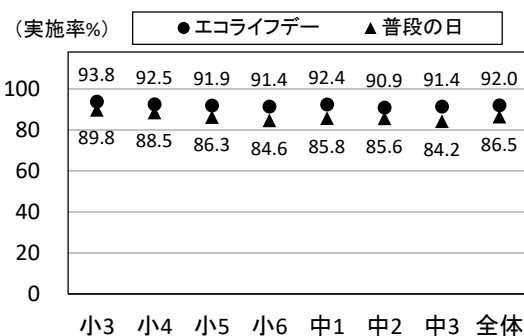
■ Q10 ドライヤーの前にタオルで髪をしっかりと拭いて乾かした



★ Q11 マイボトルを持ち歩いた



■ Q12 近いところへは車に乗らないで、歩きか自転車で行った



2.2.3 同一参加者の普段の日の実施率の経年変化

毎年実施しているエコライフチェック事業で、同一参加者のエコライフ行動に定着がみられるかを分析しました。

エコライフチェックは無記名式で実施しているため、個人レベルで同一参加者を特定して分析することはできませんが、小中学生は平成 28 年度より学年別に集計をしており、区内学校に通う小中学生のほとんどが毎年参加しているとみられます。そのため、例えば「令和元年度の小学校 3 年生」と「令和 2 年度の小学校 4 年生」を同一参加者のグループとみなし、チェック項目の普段の日の実施率を比較することで、エコライフ行動が定着しているかを分析しました。今年度は平成 29 年度から 4 年間の変化を分析しています。

分析は、直近 4 年間のデータの入手が可能な小学 6 年生と中学 3 年生に対して行いました。また、4 年間継続して実施している項目を分析の対象としています。傾向を分析した結果、下表に示す 4 つの傾向がみられました。

Q1、Q3は小学 6 年生、中学 3 年生ともに学年が上がるにつれて実施率が増加しており、普段の日からの取組が定着している傾向がみられました。一方で、Q2 は小学 6 年生、中学 3 年生ともに実施率が低下しています。これは、年齢とともに「面倒」等の理由で避けられている取組であることが考えられます。また、Q5、Q7 は小学 6 年生、中学 3 年生ともに学年による変化が少ない項目でした。

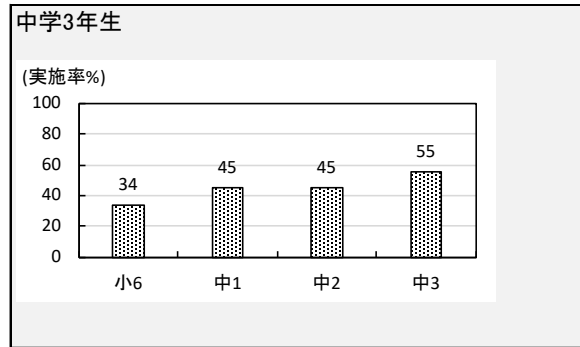
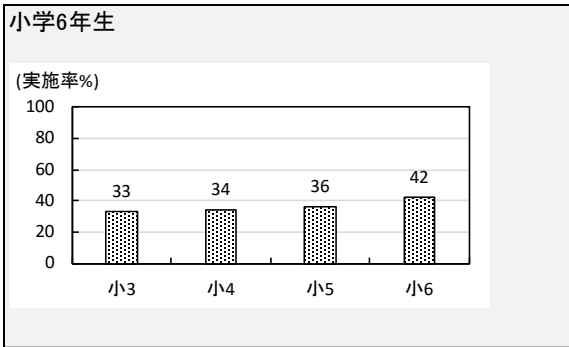
特徴的な傾向として、Q12 について、小学生は学年が上がるにつれて実施率が下がるのに対して、中学生は学年による変化がほとんどありません。小学生は学年が上がるにつれて、塾や習い事の送り迎えなどで車を使う機会が増えている可能性があります。

Q7 は、小学生では、学年が上がるにつれて実施率が増加していますが、中学生は学年による変化がほとんどありません。中学生に対して食品ロスの問題等の普及啓発をすることが効果的な可能性があります。

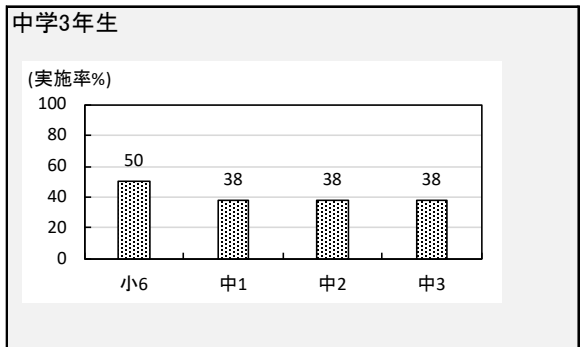
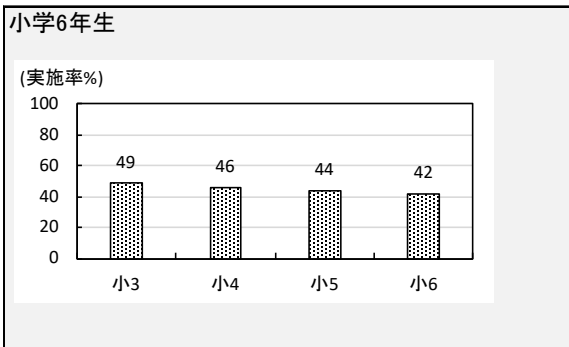
チェック項目実施率の経年変化の傾向

▲ 学年が上がるにつれて実施率が増加しているチェック項目	
Q1 テレビをつけている時間を少なくした	Q3 フロアモップを使って掃除機の使用時間を短くした
▼ 学年が上がるにつれて実施率が低下しているチェック項目	
Q2 長時間使わない電気器具のコードをコンセントから抜いた	
■ 学年による実施率の増減が少ないチェック項目	
Q5 冷蔵庫の扉を開けている時間を短くした	
★ その他の傾向のチェック項目	
Q7 食事や給食を残さず食べた	Q12 近いところへは車に乗らないで、歩きか自転車で行った

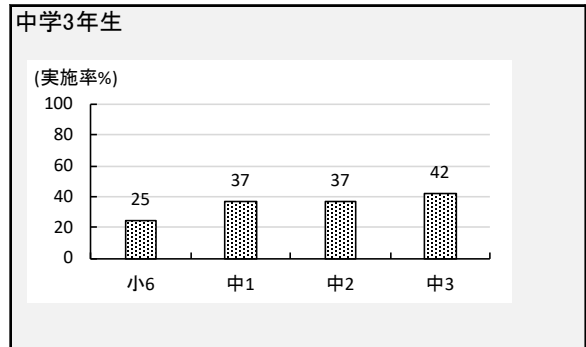
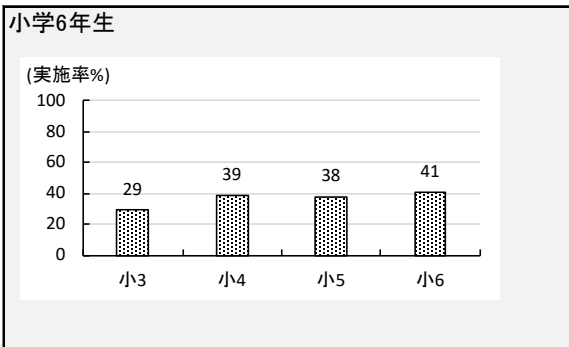
▲ Q1 テレビをつけている時間を少なくした



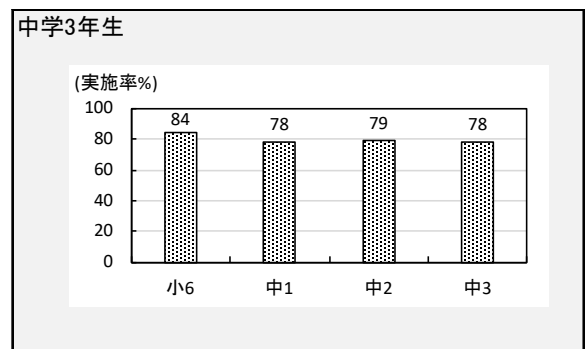
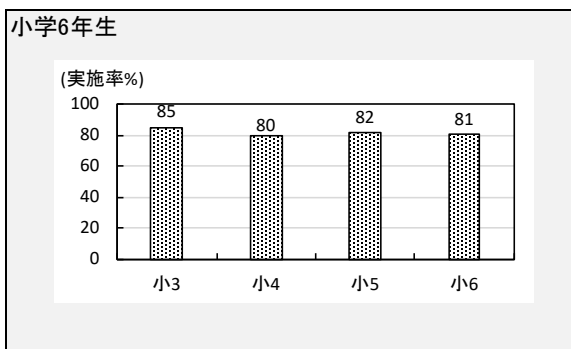
▼ Q2 長時間使わない電気器具のコードをコンセントから抜いた



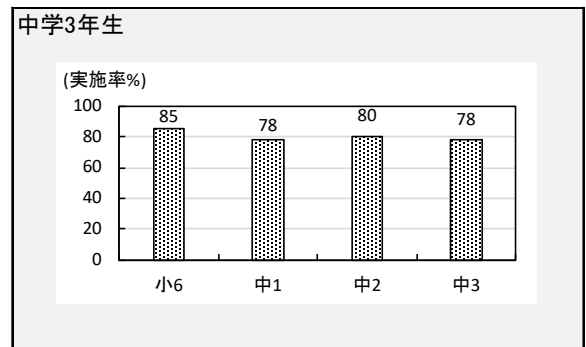
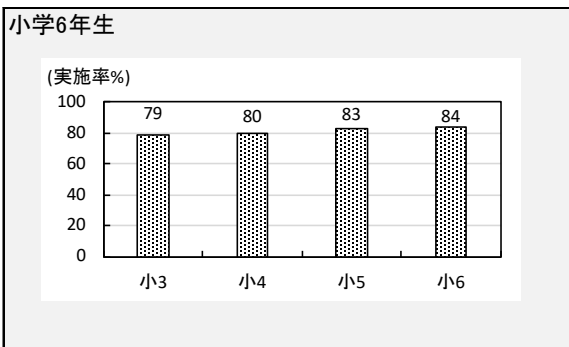
▲ Q3 フロアモップを使って掃除機の使用時間を短くした



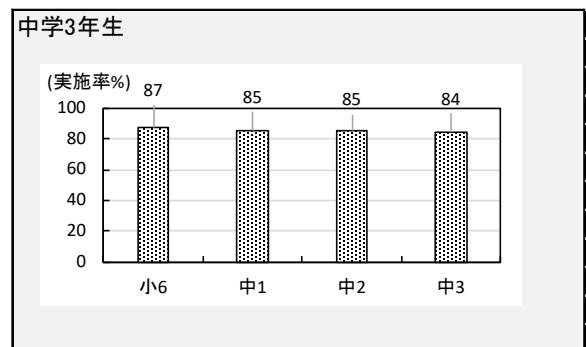
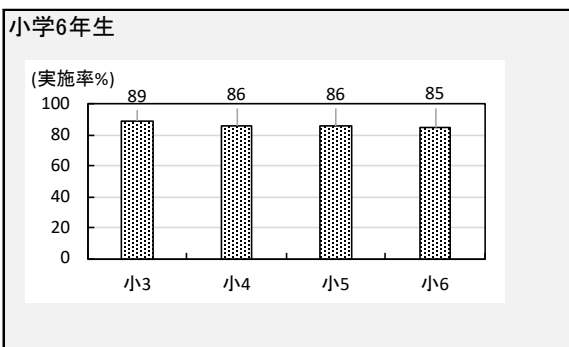
■ Q5 冷蔵庫の扉を開けている時間を短くした



★ Q7 食事や給食を残さずに食べた



★ Q12 近いところへは車に乗らないで、歩きか自転車で行った



2.3 二酸化炭素排出削減量

2.3.1 令和2年度個人用エコライフチェックの二酸化炭素排出削減量

令和2年度の個人用エコライフチェックによる二酸化炭素排出削減量は普段の日が22.12 t、エコライフデーが24.87 tでした。エコライフデーに普段の日より削減できた二酸化炭素排出量は2.75 tでした。

令和2年度個人用エコライフチェック参加者の 二酸化炭素排出削減量(チェック項目別)

単位: kg-CO₂/日

番号	エコライフデー	普段の日	エコライフデーと 普段の日の差
Q1	720	411	309
Q2	1,721	1,122	599
Q3	501	363	138
Q4	1,193	1,153	40
Q5	311	268	43
Q6	958	782	176
Q7	1,686	1,544	142
Q8	738	616	122
Q9	3,656	3,441	215
Q10	1,020	934	86
Q11	2,177	1,993	184
Q12	10,185	9,492	693
計	24,866	22,119	2,747

詳しい結果は、P42 を参照してください。

2.3.2 二酸化炭素排出削減量の例え

令和2年度の個人用エコライフチェックの参加者がエコライフデーに普段の日より削減できた二酸化炭素排出量は、どのくらいの量なのでしょうか？仮に区立小中学生全員、または区民全員が毎日エコライフに取り組んだ場合、削減できる二酸化炭素の量は年間でどのくらいの量になるのでしょうか？

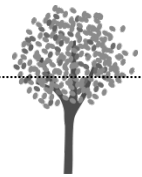
- (1) 令和2年度の参加者がエコライフデーに普段の日より削減できた二酸化炭素排出量
令和2年度の参加者 42,225 人がエコライフデーに普段の日より削減できた二酸化炭素排出量は 2.747t/日です。

- ケヤキの木が吸収する二酸化炭素の量に換算すると・・・

$$2.747 \text{ [t/日]} \div 0.00016 \text{ [t/(本・日)]} = 17,169 \text{ [本]}$$

直径 20cm のケヤキ 1 本が 1 日に吸収する二酸化炭素量
(0.0589[t/(本・年)]/365日=0.00016[t/(本・日)])

つまり、ケヤキの木約 17,169 本が 1 日に吸収する二酸化炭素の量に相当します。



- 削減できた二酸化炭素の体積をお風呂の容積に換算すると・・・

$$2.747 \text{ [t/日]} \times 0.541 \text{ [m}^3 \text{ / kg]} \div 0.25 \text{ [m}^3 \text{ / 杯]} \times 1,000 \text{ [kg / t]} = 5,945 \text{ [杯/日]}$$

1 気圧、17.3℃*における
二酸化炭素 1kg あたりの体積

お風呂 1 杯の容積を 250 升
=0.25[m³/杯]と仮定

つまり、お風呂約 5,945 杯分の体積に相当します。

※気象庁練馬観測所における 2020 年 10 月の平均気温



- (2) 区立小中学生全員が毎日エコライフに取り組んだ場合

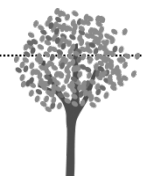
仮に区立小中学生全員 46,649 人（令和2年 5 月時点）が 1 年間、毎日エコライフに取り組んだ場合、二酸化炭素排出削減量は、
 $2.747 \text{ [t/日]} \div 42,225 \text{ [人]} \times 46,649 \text{ [人]} \times 365 \text{ [日/年]} = 1,108 \text{ [t/年]}$
となります。

- ケヤキの木が吸収する二酸化炭素の量に換算すると・・・

$$1,108 \text{ [t/年]} \div 0.0589 \text{ [t/(本・年)]} = 18,812 \text{ [本]}$$

直径 20cm のケヤキ 1 本が 1 年間に吸収する二酸化炭素量

つまり、ケヤキの木約 18,812 本が 1 年間に吸収する二酸化炭素の量に相当します。



- 森林が吸収するのに必要な面積に換算すると・・・



$$1,108 \text{ [t/年]} \div 3.15 \text{ [t/(ha・年)]} \div 4,816 \text{ [ha]} = 0.073 \text{ (}\div 0.1\text{)}$$

↑
森林 1ha が 1 年間に吸収する
二酸化炭素の量

↑
練馬区の面積
4,816[ha]

つまり、練馬区の約 1/10 の広さの森林が吸収する二酸化炭素の量に相当します。

※ha (ヘクタール) は面積の単位で 100 ㊦×100 ㊦が 1 ha です。練馬区の小学校の敷地の多くは 1ha 前後です。

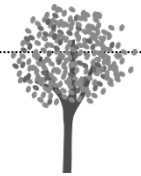
- (3) 区民全員が毎日エコライフに取り組んだ場合

仮に区民全員 739,246 人 (令和 3 年 3 月時点) が 1 年間、毎日エコライフに取り組んだ場合、二酸化炭素排出削減量は、

$$2.747 \text{ [t/日]} \div 42,225 \text{ [人]} \times 739,246 \text{ [人]} \times 365 \text{ [日/年]} = 17,554 \text{ [t/年]}$$

となります。

- ケヤキの木が吸収する二酸化炭素の量に換算すると・・・



$$17,554 \text{ [t/年]} \div 0.0589 \text{ [t/(本・年)]} = 298,031 \text{ [本]}$$

↑
直径 20cm のケヤキ 1 本が 1 年間に吸収する
二酸化炭素量

つまり、ケヤキの木約 30 万本が 1 年間に吸収する二酸化炭素の量に相当します。

- 森林が吸収するのに必要な面積に換算すると・・・



$$17,554 \text{ [t/年]} \div 3.15 \text{ [t/(ha・年)]} \div 4,816 \text{ [ha]} = 1.2$$

↑
森林 1ha が 1 年間に吸収する
二酸化炭素の量

↑
練馬区の面積
4,816[ha]

つまり、練馬区の約 1.2 倍の広さの森林が吸収する二酸化炭素の量に相当します。

詳しい計算方法は、P53 を参照してください。

2.4 啓発項目のエコライフチェック結果

啓発項目の質問 1～質問 3 は、小中学生のみを対象として質問しました。いずれの項目も、半数以上の参加者が「知っている」と回答しており、小中学生の環境に対する関心の高さが分かります。

番号	チェック項目	「知っている」と回答した人の割合
質問 1	プラスチックごみ削減のため、レジ袋が有料になったことを知っている	97.7%
質問 2	国内の電気のほとんどは火力発電であることを知っている	60.9%
質問 3	23 区で 1 番緑があるのは練馬区であることを知っている	77.2%

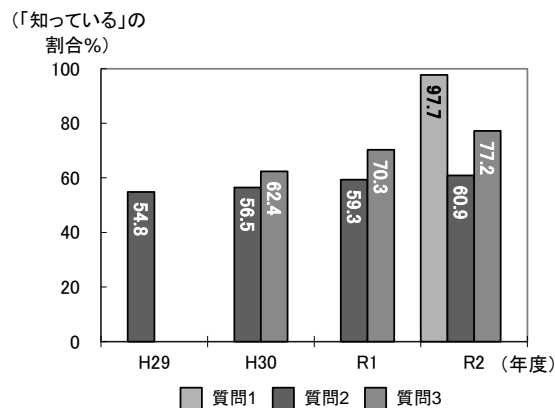
啓発項目における「知っている」と回答した小中学生の割合の経年変化は以下のとおりです。

質問 1 は、令和 2 年度に新規設定した質問であり、プラスチックごみ削減を意識付けすることを目的としたものです。知っている人の割合は 97.7% となっており、ほとんどの小中学生が知っていると言えます。

質問 2 は、平成 29 年度より設定した質問であり、知っている人の割合は増加傾向にあります。依然として他の質問と比べて割合が低いため、普及啓発の余地があると考えられます。

質問 3 は平成 30 年度に新規設定した質問であり、77.2% と昨年度より知っている人の割合が増えてきており、引き続き普及啓発を行うことでより多くの人に関心を持ってもらえると考えられます。

啓発項目における「知っている」と回答した小中学生の割合の経年変化



- 注 1) チェック項目は毎年一部を変更して実施しているため、過去に実施していない年度があるチェック項目についてはグラフ中の該当箇所を空欄にしています。
- 注 2) 平成 25 年度から小中学生のみを対象としています。
- 注 3) 質問 1 は令和 2 年度より、質問 2 は平成 29 年度より、質問 3 は平成 30 年度より新規項目に変更しています。

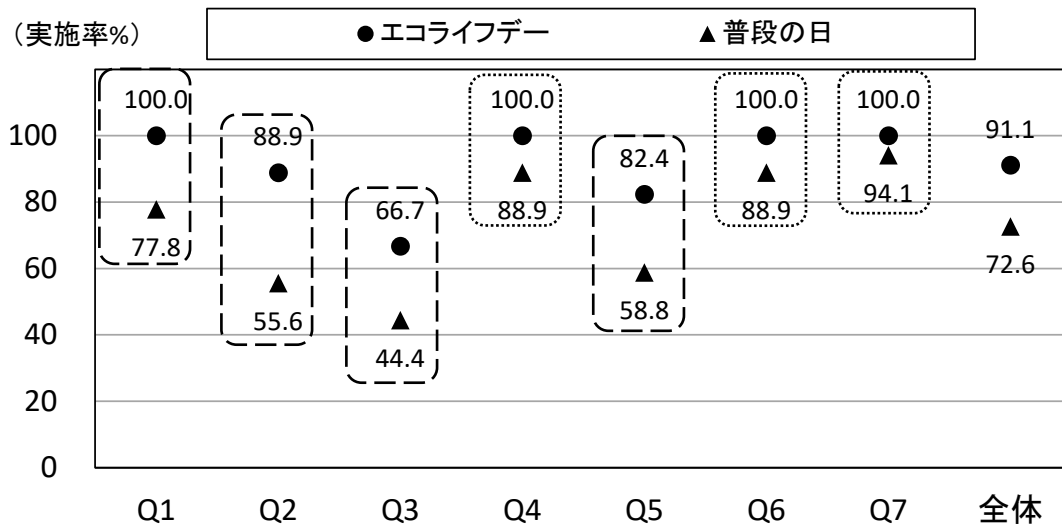
3 事業所用エコライフチェックの結果

3.1 各チェック項目の実施率

3.1.1 各チェック項目の実施率について

チェック項目別の実施率は次に示すとおりです。

チェック項目別の令和2年度事業所用エコライフチェック項目実施率
(参加事業所全体の平均値)



【凡例】
 ○○○○・・・分類A 普段の日もエコライフデーも実施率が高い項目
 (普段・エコライフデーともに実施率が80%以上の項目)
 □□□□・・・分類B 普段の日と比べてエコライフデーの実施率が大きく上昇している項目
 (普段・エコライフデーの実施率の変化が20%以上かつ普段の日の実施率が80%以下の項目)

Q1	使用していないエリア(会議室、事務室、休憩室等)や不要な場所(駐車場、外部照明等)は消灯した
Q2	長時間席を離れるときは、OA 機器(パソコン、コピー機)の電源を切るか、省エネルギーモードにした
Q3	お昼休みは、執務スペース等の照明の使用を半分程度に減らした
Q4	手洗いや湯飲み等を洗う際に、水*を出しっぱなしにできなかった ※1人、1日当たり1分間、節水した場合
Q5	冷房の設定温度を2℃上げた
Q6	紙の使用を意識して減らした
Q7	自動車の利用時にエコドライブ(ゆるやかなアクセル操作* ^{※1} やアイドリングストップ* ^{※2})をした ※1:最初の5秒で20km/hになるくらい ※2:踏切待ちなど5秒以上停止する場合

全ての項目においてエコライフデーの実施率が普段の日より上昇しており、エコライフデーを意識することにより普段以上にエコライフに取り組んでいることが分かります。実施率や普段の日とエコライフデーとの実施率の差は、チェック項目ごとに傾向が異なります。そのため、7個のチェック項目を実施率の高さや、普段の日とエコライフデーとの実施率の差の観点から以下の2つのグループに分類して分析します。

- 分類A：普段の日もエコライフデーも実施率が高い項目（Q4, Q6, Q7）
 分類B：普段の日と比べてエコライフデーの実施率が大きく上昇している項目（Q1, Q2, Q3, Q5）

(1) 分類A 普段の日もエコライフデーも実施率が高い項目の分析

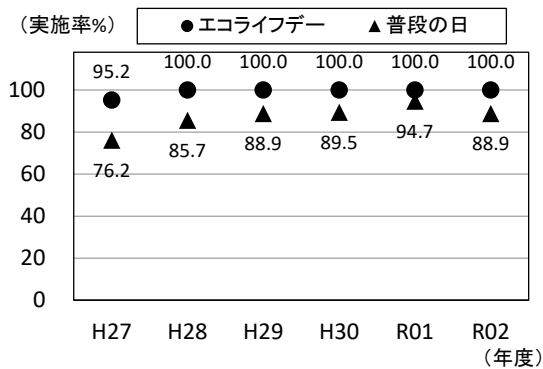
普段の日もエコライフデーも実施率が高い傾向がみられるのは、以下の3項目です（普段・エコライフデーともに実施率が80%以上の項目を抽出しています）。

番号	チェック項目	エコライフデーの実施率	普段の日の実施率	実施率の差
Q4	手洗いや湯飲み等を洗う際に、水*を出しっぱなしに しなかった ※1人、1日当たり1分間、節水した場合	100.0%	88.9%	11.1ポイント
Q6	紙の使用を意識して減らした	100.0%	88.9%	11.1ポイント
Q7	自動車の利用時にエコドライブ (ゆるやかなアクセル操作* ^{※1} やアイドリングストップ* ^{※2})をした ※1: 最初の5秒で20km/hになるくらい ※2: 踏切待ちなど5秒以上停止する場合	100.0%	94.1%	5.9ポイント

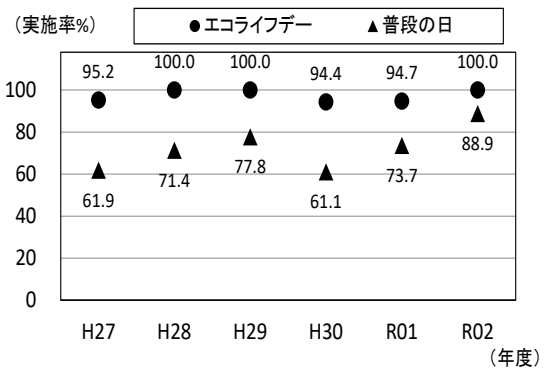
いずれの項目も普段の日から80%以上の実施率であり、これらの項目が普段の業務の中に身につけていることがうかがえます。Q6については、昨年度から普段の日の実施率が大幅に上昇しており、ペーパーレス化が進んでいることが要因の一つとして考えられます。

チェック項目別実施率の経年変化(Q1, Q4, Q7)

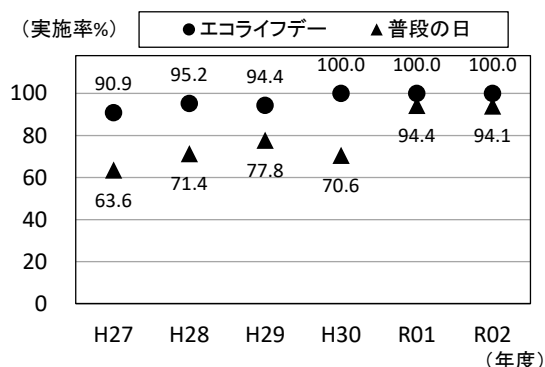
Q4 手洗いや湯飲み等を洗う際に、水を出しっぱなしに
しなかった



Q6 紙の使用を意識して減らした



Q7 自動車の利用時にエコドライブをした



- (2) 分類B 普段の日と比べてエコライフデーの実施率が大きく上昇している項目の分析
 普段の日と比べてエコライフデーの実施率が大きく上昇する傾向がみられるのは、以下の4項目です（普段・エコライフデーの実施率の変化が20%以上かつ普段の日の実施率が80%以下の項目を抽出しています）。

番号	チェック項目	エコライフデーの実施率	普段の日の実施率	実施率の差
Q1	使用していないエリア(会議室、事務室、休憩室等)や不要な場所(駐車場、外部照明等)は消灯した	100.0%	77.8%	22.2 ポイント
Q2	長時間席を離れるときは、OA 機器(パソコン、コピー機)の電源を切るか、省エネルギーモードにした	88.9%	55.6%	33.3 ポイント
Q3	お昼休みは、執務スペース等の照明の使用を半分程度に減らした	66.7%	44.4%	22.3 ポイント
Q5	冷房の設定温度を2℃上げた	82.4%	58.8%	23.6 ポイント

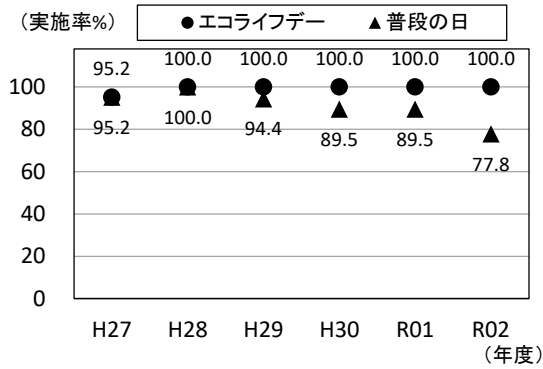
Q2の実施率の差が33.3ポイントと全項目中で最も高くなっています。Q1、Q2、Q5のエコライフデーにおける実施率はいずれも80%を超えており、意識することで実施可能な取組が多いと考えられます。

一方で、Q3は普段の日、エコライフデーともに実施率が低くなっていますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、執務スペースを広く使ったことが要因の一つとして考えられます。

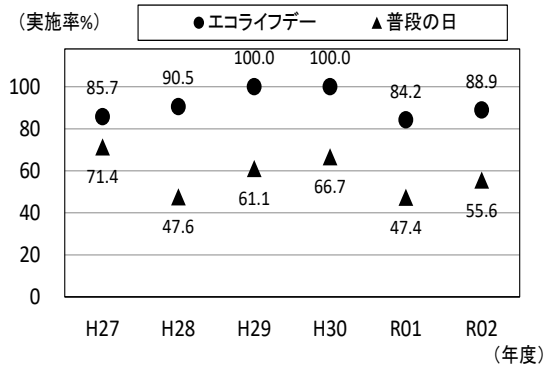
これら4項目は、強く意識することで実施することはできますが、普段は業務上実施できていない可能性も考えられます。これらの項目を事業所に定着させるためには、今後も継続して働きかける必要性が感じられます。

チェック項目別実施率の経年変化(Q2, Q3, Q5, Q6)

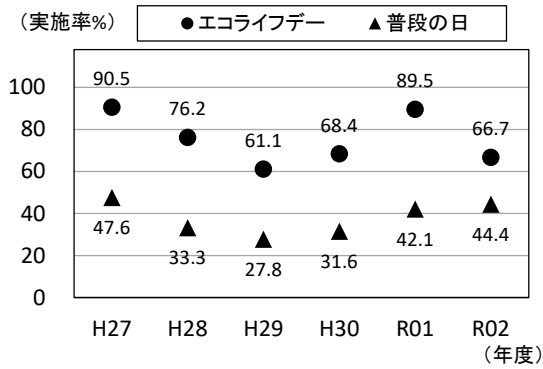
Q1 使用していないエリアや不要な場所は消灯した



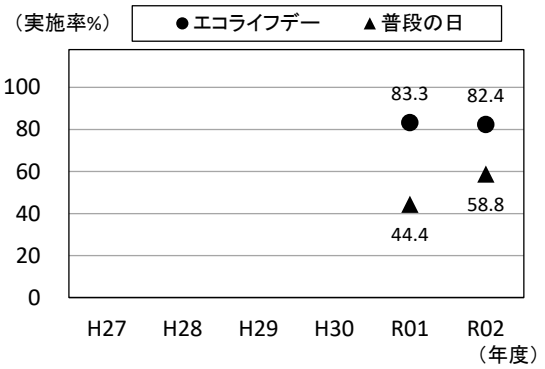
Q2 長時間席を離れるときは、OA 機器の電源を切るか、省エネルギーモードにした



Q3 お昼休みは、執務スペース等の照明の使用を半分程度に減らした



Q5 冷房の設定温度を2℃上げた



3.2 二酸化炭素排出削減量

令和2年度の事業所用エコライフチェックによる二酸化炭素排出削減量は、普段の日が102.8kg、エコライフデーが151.4kgでした。エコライフデーに普段の日より削減できた二酸化炭素排出量は48.6kgでした。

令和2年度事業所用エコライフチェック参加事業所によるチェック項目ごとの
二酸化炭素排出削減量

単位: kg-CO₂/日

番号	エコライフデー	普段の日	エコライフデーと 普段の日の差
Q1	24.9	21.7	3.2
Q2	15.2	7.1	8.1
Q3	7.5	6.1	1.4
Q4	12.2	11.7	0.5
Q5	47.6	39.1	8.5
Q6	4.5	2.8	1.7
Q7	35.2	32.3	2.9
計	147.1	120.8	26.3

詳しい結果は、P54 を参照してください。

3.3 年間の節約金額

令和2年度の事業所用エコライフチェックを一年間続けた場合、節約できる年間の光熱水費等は、普段の日が229万円、エコライフデーが262万円となります。エコライフデーに普段の日より節約できる年間の光熱水費は33万円となります。

令和2年度事業所用エコライフチェック参加事業所による
チェック項目ごとの年間節約金額

番号	エコライフデー	普段の日	エコライフデーと 普段の日の差
Q1	22万円	19万円	3万円
Q2	13万円	6万円	7万円
Q3	6万円	5万円	1万円
Q4*	116万円	112万円	4万円
Q5	42万円	34万円	8万円
Q6*	18万円	11万円	7万円
Q7*	45万円	41万円	4万円
計*	262万円	229万円	33万円

※千円の位を四捨五入して記載している関係で、普段の日とエコライフデーの差が一致しません。

詳しい結果は、P54 を参照してください。

4 令和2年度成果の整理

4.1 エネルギー（ガソリン）削減量

エコライフに取り組むと、二酸化炭素排出量を削減できますが、これは電気や熱といったエネルギーの使用量が減るためです。平成 27 年度から、個人用エコライフチェックと事業所用エコライフチェックの両方で、エコライフによって削減できるエネルギー量を、わかりやすいガソリン量で算出しています。

その結果、削減できたガソリン量は、個人用エコライフチェックで 1,445L、事業所用エコライフチェックで 16L、合計で 1,461L となりました。

令和2年度エコライフチェックによるチェック項目ごとのガソリン削減量

単位:L/日

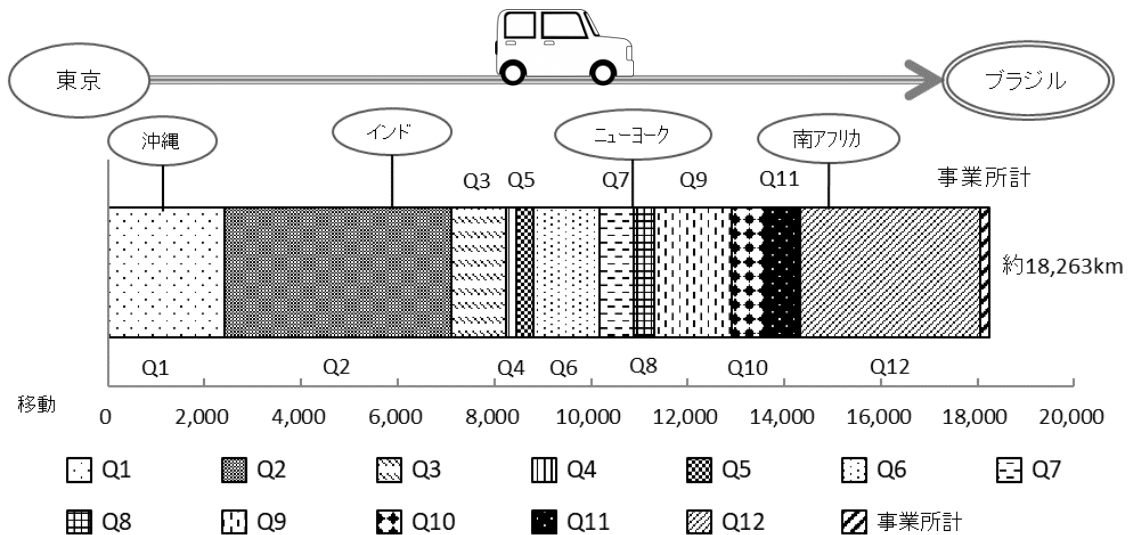
種類	番号	エコライフデー	普段の日	エコライフデーと普段の日の差
個人用	Q1	455	262	193
	Q2	1,081	706	375
	Q3	325	233	92
	Q4	443	427	16
	Q5	187	159	28
	Q6	602	492	110
	Q7	708	651	57
	Q8	202	169	33
	Q9	2,144	2,015	129
	Q10	653	599	54
	Q11	670	611	59
	Q12	4,388	4,089	299
	計	11,858	10,413	1,445
事業所用	Q1	15.8	13.8	2.0
	Q2	9.8	4.6	5.2
	Q3	4.9	4.0	0.9
	Q4	2.8	2.7	0.1
	Q5	29.8	24.4	5.4
	Q6	1.4	0.8	0.6
	Q7	14.9	13.6	1.3
		計	79.4	63.9
合計		11,937	10,477	1,461

詳しい結果は、P43、54 を参照してください。

削減できた 1,461L のガソリンは、車の移動距離で約 18,263km 分となります。これは、東京から南米にあるブラジルまでの距離になります。

$$\text{ガソリン } 1,461\text{L} \times \text{車の燃費}^*12.5\text{km/L} = 18,263\text{km}$$

※車の燃費：国土交通省 自動車燃料消費量統計年報（令和元年度分）第1表 燃料別・車種別 総括表



※ここでは、東京から沖縄（那覇）までを約 1,600km、インド（ニューデリー）までを約 6,000km、ニューヨークまでを約 11,000km、南アフリカ（ケープタウン）までを約 15,000kmとしています。

4.2 令和2年度エコライフチェック事業の成果一覧

令和2年度のエコライフチェック事業の成果一覧を下表に示します。

	個人用	事業所用	合計
参加者数	42,225 人	18 事業所	—
エコライフ実施率（全項目平均）			
普段の日	69.5%	72.6%	—
エコライフデー	81.9%	91.1%	—
差	12.4 ポイント	18.5 ポイント	
二酸化炭素排出削減量	2.75t	0.03t	2.78t
光熱費等節約金額	—	33 万円	—
ガソリン削減量	1,445L	16L	1,461L

5 まとめ

※「●」は個人用の成果について、「○」は事業所用の成果について、「◎」は全体について記載しています。

5.1 令和2年度のエコライフチェック事業の成果

令和2年度のエコライフチェック事業で得られた成果を以下に記載します。

● 4万人を超える方々が参加しました

区内の小中学生を始めとして、令和2年度は全体で過去最多となる42,225人が参加しました。昨年度の40,601人より1,624人多い結果となりました。平成28年度から継続して、4万人を超えており、多くの人に参加していただけています。また、今年度は昨年度から引き続き「東京2020 参画プログラム（持続可能性）」に参加したことで、区内外への周知を図ったことで、来年度はさらなる参加者の増加が期待されます。

区分ごとの参加人数を見ると、小中学生の参加者が昨年度より1,766人増加して26,070人となった一方で、一般参加者の人数は、昨年度より半分以上（620人）減少して556人となっています。

● エコライフチェック項目の実施率は昨年より少し増加しています

チェック項目ごとに実施率の増減傾向は異なりますが、全チェック項目の平均実施率が、昨年より少し増加しています。レジ袋有料化の影響により、Q4、Q11の実施率が昨年度から大きく増加したことが要因のひとつと考えられます。過去、実施率の高い傾向にあったQ5、Q7、Q10、Q12は、現在もその水準を維持しています。

● 普段の日とエコライフデーのチェック項目の実施率の差は平均12.4ポイント、これによる二酸化炭素排出削減量は2.75tでした

チェック項目ごとの普段の日とエコライフデーの実施率の差は、平均して12.4ポイントです。これは、普段チェック項目を実施していなかった参加者の1割以上が、エコライフデーには取り組めたと理解できます。この差が、二酸化炭素排出削減量に換算すると2.75tでした。令和元年度の2.51tより増加しています。これは参加者の増加が主な原因となっています。

● 新規項目（Q6）の実施率は、普段の日・エコライフデーともに低い結果でした

新規項目であるQ6「冷房の設定温度を1℃上げた」の実施率は普段の日で51.9%、エコライフデーで63.5%でした。エコライフチェックの実施時期（10月）に冷房を使用していなかった参加者がいる程度存在したため、チェック項目全体の中では実施率が低い部類になってしまったと考えられます。

● 新規項目（Q8）の実施率は、普段の日・エコライフデーともに高い結果でした

新規項目であるQ8「手洗い中、水を出しっぱなしにしなかった」の実施率は普段の日で74.3%、エコライフデーで89.1%であり、チェック項目全体の中では比較的高い部類となりました。

● **Q2 普段の日の実施率が減少傾向にあります。**

Q2「長時間使わない電気器具のコードをコンセントから抜いた」の普段の日における実施率は近年減少傾向にあります。また、この項目は、エコライフデーの実施率も70%未満にとどまっています。今後、引き続き実施することに加え、啓発を行うことで実施率を引き上げることが大切です。

● **Q3 の実施率が普段の日・エコライフデーともに増加傾向にあります。**

Q3「フロアモップを使って掃除機の使用時間を短くした」の普段の日とエコライフデーにおける実施率は平成29年度の項目設定以降、増加傾向にあります。普段の日とエコライフデーの実施率はともに、依然として他項目と比較して低い状況にあります。今後、引き続き実施することで実施率を徐々に引き上げることが重要です。

● **Q4とQ11の実実施率が、普段の日・エコライフデーともに大幅に上昇しました**

Q4「買い物するときにマイバッグを持って行った」の実実施率は普段の日、エコライフデーともに昨年度から10ポイント以上上昇しており、普段の日の実施率も89.7%と高い実施率となりました。レジ袋有料化に伴い、多くの人にマイバックを持ち歩く習慣が身につくと考えられます。

また、Q11「マイボトルを持ち歩いた」の実実施率も普段の日、エコライフデーともに昨年度から10ポイント以上上昇しています。

マイバック・マイボトルの利用は温暖化対策のみではなく、レジ袋やペットボトルの使用を減らすことにつながり、近年、問題となっている海洋プラスチックごみの削減につながるため、実施率をさらに引き上げることが大切です。

● **新規啓発項目（質問1）の認知度は97.7%でした**

令和2年度より新規に設定した啓発項目の質問1「プラスチックごみ削減のため、レジ袋が有料になったことを知っている」については、約98%の小中学生が知っているという結果になりました。

新規項目は、プラスチックごみ削減のきっかけとして、レジ袋が有料化されたことを知り、海洋プラスチックごみの問題等に興味を持ってもらうことを目的に設定しました。

● **同一参加者で昨年度と結果を比較したところ、参加者の生活において定着しているチェック項目とそうでない項目がみられました**

平成28年度から実施している、小中学生を対象に同一参加者の実施率がどのように変化しているか分析をしたところ、学年が上がるに伴い実施率向上がみられる項目とそうでない項目がありました。今後も毎年蓄積するデータを分析することにより、定着しにくい項目を明らかにし、重点的な啓発を行う必要があります。また、経年での分析のためには複数年に渡って同じ項目をモニタリングすることが重要です。

○ **事業所用エコライフチェックに18事業所が参加しました**

平成26年度から始めた事業所用エコライフチェックは、昨年度の19事業所から減少し、今年度は18事業所にご参加いただきました。

○ **事業所用エコライフチェックの実施率は概ね高い値を示しています**

エコライフデー実施率 100%となる項目が多数あり、事業所のみなさんのエコに対する意識の高さが伺えました。エコライフデーの実施率は 7 項目中 6 項目で 80%を超えています。一方、普段の日の実施率は 50%に満たない項目もあり、普段の日の取組を促すことが重要です。

○ **Q1 普段の日の実施率が減少傾向にあります。**

Q1「使用していないエリア（会議室、事務室、休憩室等）や不要な場所（駐車場、外部照明等）は消灯した」は、エコライフデーの実施率は 100%を維持していますが、普段の日の実施率が減少傾向にあります。今後、普段の日から実施するよう働きかけていくことが大切です。

5.2 今後の事業実施に向けた課題

今後のエコライフチェック事業を実施していくうえでの課題は、以下のとおりです。

◎ **従来の実施方法による事業の継続**

地球規模で進行する温暖化を防止するためには、エコライフの取組が区民生活や事業活動に広く浸透していることが重要です。毎年継続して実施するチェック項目を定めているように、今後も従来からの実施方法を継続し、エコライフの実施率の推移を把握することで、実施率の維持・向上に努めていく必要があります。

◎ **普段の日の取組の強化**

エコライフチェックでは、普段の日とエコライフデーの取組の「差」を見ることで、取組状況を評価しています。エコライフデーにおける実施率は平成 21 年度以降、毎年 80%を超えており、区民に対するエコライフデーの浸透は一定の成果をあげていると言えます。

一方で、普段の日の実施率は平成 24 年度以降大きな変化がなく、70%前後で推移しています。今後は、引き続き、普段の日の実施率の“底上げ”を図っていくことが必要です。エコライフチェックシートに前年度の普段の日の実施率をエコライフデーの実施率とともに掲載することで、参加者が普段からエコライフが実施できていたかを振り返ってもらうことが対策として考えられます。

◎ **実施率を重視した啓発**

1 日の二酸化炭素排出削減量はチェック項目ごとに異なるため、より多くの二酸化炭素排出量を削減するには、より削減効果の高い項目を実施すればよいという解釈もできます。しかしながら、1 日の二酸化炭素排出削減量が少なくても、より多くの人を取り組むことにより、大きな削減効果を生むことが可能です。地球レベルで進行する地球温暖化を防止するためには、より多くの人が多くチェック項目を日常的に実施することが必要であることに主眼を置いた啓発が必要です。

● 参加人数の更なる拡大

本事業は例年区内の小中学生とその家族が参加者の大半を占めています。参加人数をさらに拡大するためには、区内の各種団体・事業者とのつながりを活用するなどして、学校以外の新たな参加ルートの開拓を進めることが今後の課題といえます。

○ 事業所用エコライフチェック項目の検討

今年度の事業所用チェック項目において、普段の日とエコライフデーの実施率がともに高い項目のうち、事業所の形態によってばらつきが出そうな項目（Q2「長時間席を離れるときは、OA 機器の電源を切るか、省エネルギーモードにした」、Q7「自動車の利用時にエコドライブをした」など）は、今後もその変化を見ていくことが必要と考えます。

普段の日とエコライフデーの実施率の変化が大きい項目については、引き続きチェック項目とすることで啓発を促し、エコライフの定着を見守ることが重要です。

◎ 環境教育・環境学習との連携の必要性

現状のエコライフチェック事業は、毎年秋の実施時や冬のチェックレポート配布時に参加者が意識する機会であり、さらなる浸透のためには、その他の機会にもエコライフを身近に感じられる普及啓発策が必要です。

今後は、中学生や小学校低学年向けの教材を作成し、よりエコライフ行動が浸透するような教育プログラムの構築につなげて行くことが重要です。

◎ 新たな生活様式を踏まえたエコライフチェック項目の検討

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いの機会が増えることを踏まえ個人用の新規項目として「手洗い中、水を出しっぱなしにできなかった」を設定しました。今後も社会情勢の影響により、生活様式・働き方にも大きな変化が訪れることが考えられるため、来年度以降、チェック項目に取り組んでもらうにあたり、その時々社会情勢を踏まえ、より取り組みやすい項目を検討していくことも大切です。

< 謝 辞 >

本年度も、多くの皆さまにご参加いただき、エコライフチェック事業を実施できました。

小中学校の児童・生徒の皆さんやご指導いただいた校長先生はじめ教職員の皆さま、ご協力いただいた保護者の皆さま、ならびに事業への参加をいただいた区内事業所・団体の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

本事業の実施にあたり、練馬区環境行動連絡会の方々には、チェック項目検討会において多岐にわたるご意見を頂きました。本当にありがとうございました。

最後に、皆さまのご協力により、令和2年度エコライフチェック事業が円滑に実施できましたことに、深く感謝申し上げます。

資料編

資料編

<個人用エコライフチェック>

1 個人用エコライフチェック項目ごとの実施率	41
2 個人用エコライフチェック項目ごとの二酸化炭素排出削減量	42
3 個人用エコライフチェック項目ごとのガソリン削減量	43
4 令和2年度個人用エコライフチェックシート・チェックレポート	44
5 1日の二酸化炭素排出削減量・ガソリン削減量の算出根拠	50
6 二酸化炭素排出削減量の例えに関する根拠	53

<事業所用エコライフチェック>

7 事業所用エコライフチェック項目ごとの実施率・二酸化炭素排出削減量 ・光熱費等年間節約金額・ガソリン削減量	54
8 令和2年度事業所用エコライフチェックシート	55
9 1日の二酸化炭素排出削減量・年間節約金額・ガソリン削減量の算出根拠	57

資料編 1 個人用エコライフチェック項目ごとの実施率

個人用エコライフチェック項目ごとの実施率

単位：%

属性	参加区分数 参加者数	エコライフデー/ 普段の日	Q1-12各項目の実施率												Q1-12 平均実施率	質問1-3			質問1-3 平均実施率				
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12		質問1	質問2	質問3					
			小学生	65 参加者合計 15,578	エコライフデー 普段の日 差	76.6	66.2	57.6	92.0	93.7	62.4	89.9	88.2	79.8		88.9	79.2	92.4		80.7	97.3	53.6	76.4
中学生	35 参加者合計 10,492	エコライフデー 普段の日 差	84.3	63.2	55.1	87.9	92.7	56.9	89.9	86.8	83.8	89.7	66.1	91.6	79.1	98.4	71.5	78.3	79.1	98.4	71.5	78.3	79.1
高校生 ・大人	16,155 参加者合計	エコライフデー 普段の日 差	34.5	24.7	15.6	6.1	14.0	15.1	10.6	15.8	5.8	8.2	10.3	6.3	14.0				14.0				14.0
全体	42,225 参加者合計	エコライフデー 普段の日 差	87.6	70.0	67.3	96.8	94.2	69.0	96.2	91.4	85.3	95.1	79.9	92.7	85.5				85.5				85.5
			53.4	46.4	48.6	94.4	80.6	59.4	91.1	76.4	81.7	88.2	73.6	85.3	73.3				73.3				73.3
			34.2	23.6	18.7	2.4	13.6	9.6	5.1	15.0	3.6	6.9	6.3	7.4	12.2				12.2				12.2
			82.7	66.9	60.7	92.8	93.6	63.5	91.9	89.1	82.9	91.5	76.2	92.3	81.9	97.7	60.9	77.2	81.9	97.7	60.9	77.2	81.9
			47.1	43.6	44.0	89.7	80.5	51.9	84.5	74.3	78.0	83.6	69.8	86.0	69.5				69.5				69.5
			35.6	23.3	16.7	3.1	13.1	11.6	7.4	14.8	4.9	7.9	6.4	6.3	12.4				12.4				12.4

資料編2 個人用エコライフチェック項目ごとの二酸化炭素排出削減量

個人用エコライフチェック項目ごとの二酸化炭素排出削減量

単位: kg-CO₂/日

R02	属性	参加区分数 参加者数	エコライフデー/ 普段の日	Q1-12各項目の二酸化炭素排出削減量												Q1-12 合計
				Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	
小学生	参加校数	65	エコライフデー	246	628	175	435	115	345	604	269	1,291	364	832	3,750	9,054
	参加者合計	15,578	普段の日	125	419	128	426	100	282	546	227	1,201	329	792	3,543	8,118
			差	121	209	47	9	15	63	58	42	90	35	40	207	936
中学生	参加校数	35	エコライフデー	182	404	113	280	76	217	408	178	920	249	469	2,508	6,004
	参加者合計	10,492	普段の日	108	246	81	261	65	159	360	146	856	227	395	2,335	5,239
			差	74	158	32	19	11	58	48	32	64	22	74	173	765
高校生 ・大人	参加校数	16,155	エコライフデー	292	689	213	478	120	396	674	291	1,445	407	876	3,927	9,808
	参加者合計	42,225	普段の日	178	457	154	466	103	341	638	243	1,384	378	806	3,614	8,762
			差	114	232	59	12	17	55	36	48	61	29	70	313	1,046
全体	参加校数	42,225	エコライフデー	720	1,721	501	1,193	311	958	1,686	738	3,656	1,020	2,177	10,185	24,866
	参加者合計	104,912	普段の日	411	1,122	363	1,153	268	782	1,544	616	3,441	934	1,993	9,492	22,119
			差	309	599	138	40	43	176	142	122	215	86	184	693	2,747

資料編3 個人用エコライフチェック項目ごとのガソリン削減量

個人用エコライフチェック項目ごとのガソリン削減量

単位: L/日

R02	属性	参加区分数	エコライフデー/ 普段の日	Q1-12各項目のガソリン削減量												Q1-12 合計
				Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	
小学生	参加者数	156	394	114	162	69	217	254	74	757	233	257	1,616	4,303		
	参加校数	65	264	82	158	60	177	231	63	704	211	243	1,526	3,798		
	参加者合計	77	130	32	4	9	40	23	11	53	22	14	90	505		
中学生	参加者数	115	254	73	104	46	136	171	49	539	159	144	1,080	2,870		
	参加校数	35	155	52	96	39	100	151	40	502	146	121	1,006	2,477		
	参加者合計	46	99	21	8	7	36	20	9	37	13	23	74	393		
高校生 ・大人	参加者数	184	433	138	177	72	249	283	79	848	261	269	1,692	4,685		
	参加校数	114	287	99	173	60	215	269	66	809	242	247	1,557	4,138		
	参加者合計	70	146	39	4	12	34	14	13	39	19	22	135	547		
全体	参加者数	455	1,081	325	443	187	602	708	202	2,144	653	670	4,388	11,858		
	参加校数	262	706	233	427	159	492	651	169	2,015	599	611	4,089	10,413		
	参加者合計	193	375	92	16	28	110	57	33	129	54	59	299	1,445		

資料編4 令和2年度個人用エコライフチェックシート・チェックレポート
 ≪小中学生用≫ 表

ストップ! 地球温暖化

ねりま大作戦2020

わたし の
 エコライフデーは 月 日

地球の平均気温は1880年と比べて、約0.85℃上がっています。
 平均気温が少しでも上がると、異常気象が増えたり、生き物の自然環境が壊れたりします。いろいろな影響が出てくるそうです。
 地球の気温が上がる原因の一つは、大気中の二酸化炭素(CO₂)が増えていることといわれています。
 この二酸化炭素(CO₂)の発生は、小さな行動で減らせます。
 そのヒントが、このチェックシートです。

さあ、チャレンジしてみよう!!



「地球温暖化」聞いたことがあるねい?

向い合わせ券
 練馬区 環境部 環境課 地球温暖化対策係
 TEL 03-5984-4705

エコライフチェックシートのつけ方

- 自分で決めた「エコライフデー」に、下のQ1～Q12に振り組もう!
- エコライフに気を付けて、実行できたことはチェック欄の「エコライフデー」に○をつけ、実行できなかったことには×をつけます。
- 普段の白からできてきていることは、チェック欄の「普段は?」に○をつけ、していないことには×をつけます。
- 下の質問1～質問3について、あてはまるものにはチェック欄の質問1～質問3に○をつけ、あてはまらないものには×をつけます。

記入例

質問	記入例	削減効果
例1	エアコンの使用時間を短くした	XXkWh削減 X人/月
例2	要らない紙をメモ用紙として使った	XXkg削減 X人/月

エコライフチェック 12項目

項目	削減効果	削減効果
Q1 テレビをつけている時間を少なくした	21kWh削減	1人/月
Q2 長時間使わない電気器具のコードをコンセントから抜いた	6.2kWh削減	1人/月
Q3 フロアモップを使って掃除機の使用時間を短くした	20kWh削減	6人/月
Q4 重い物を持つときにマイバッグを持って行った	31kWh削減	8人/月
Q5 冷蔵庫の扉を開けている時間を短くした	8kWh削減	9人/月
Q6 浴槽の設定温度を1℃上げた	38kWh削減	4人/月
Q7 食事や給食を残さずに食べた	44kWh削減	9人/月
Q8 手洗い中、水を出しっぱなしにしない	20kWh削減	1人/月
Q9 入浴後はお風呂のフタを閉めた	10.7kWh削減	8人/月
Q10 ドライヤーの前にタオルで髪をしっかりと拭いて乾かした	27kWh削減	9人/月
Q11 マイボトルを持ち歩いた	69kg削減	6人/月
Q12 近いところへは車に乗りしないで、歩きか自転車で行った	266kWh削減	9人/月

質問1

プラスチックごみ削減のため、レジ袋が有料になったことを知っている

質問2

国内の電気のほとんどは火力発電であることを知っている

質問3

23区で1番緑があるのは練馬区であることを知っている

チェック欄

はしめに、あなたの学校名とクラスを書いてください
 (名前や番目は書かないでください)

学校名

クラス 年 組

質問の答えが「はい」の時は○を書き、「いいえ」の時は×を書きます。
 こんなふうに書いてください。

エコライフデー (月)	質問1	質問2	質問3	普段は?
Q1	○	×	×	○
Q2	○	×	×	○
Q3	○	×	×	○
Q4	○	×	×	○
Q5	○	×	×	○
Q6	○	×	×	○
Q7	○	×	×	○
Q8	○	×	×	○
Q9	○	×	×	○
Q10	○	×	×	○
Q11	○	×	×	○
Q12	○	×	×	○

質問1

○

質問2

○

質問3

○

※お名前

エコクロスワード

タテ・ヨコのカタ（単語）を読んで、君のパズルを完成させよう。
すべてひらがなで答えてね。

タテのカギ

- 地球の気温が上がることの原因のひとつは①の気体の発生が関係している。
- 地球上でとれた野菜などを食べることを〇〇〇〇地産という。
- 国内の電気のほとんどは〇〇〇〇〇〇発電でつくられている。
- 節電や節水など、エネルギーを大切に、効率よく使うことを〇〇〇〇〇〇という。

ヨコのカギ

- 私たちが住んでいる国は②③④⑤である。
- 地球温暖化の原因となる二酸化炭素などは〇〇〇〇〇〇初産ガスと呼ばれる。
- 徳島に産出した芋茎を〇〇ライという。
- 地球全体の平均気温が急激に上がり、起きている現象を地球〇〇〇〇〇〇〇〇〇という。
- スラスラブックごみ削減のため、2020年7月から〇〇〇〇〇〇〇〇が有料になった。

あなたのエコライフデー

〇がつ 月 日に
Q1~Q12の項目のうち
〇がついた数はいくつですか？

クロスワードの答え

① ちきゅう ② 日本 ③ 中国 ④ 韓国 ⑤ 米国
⑥ 野菜 ⑦ 芋茎 ⑧ 節電 ⑨ 節水
⑩ 二酸化炭素 ⑪ 地球温暖化 ⑫ スラスラブック

あなたのエコライフデーの結果について（保護者の方へ）

今年（令和元年）の秋、徳島県内の小中学生を中心に40,601人と19事業所がエコライフチェック12項目にとりくみきました。削減できた二酸化炭素の量は、2,562トン（事業所分含む）です。これは、ケヤキの木、約16,000本が1日に吸収できる二酸化炭素の量となります。

じいには何も書かないでください

2 徳島県

45

ストップ! 地球温暖化

ねりま大作戦2020

私のエコライフデーは

月 日
 月 日

「地球温暖化」は現在世界規模で進んでいるといわれており、地球の平均気温は1880年と比べて、約0.85℃上がっています。この気温の上昇の原因は、IPCC*によると二酸化炭素(CO₂)等の増加によるものとされています。

二酸化炭素の排出の抑制は身近な取組で実現できます。このチェックシートにある小さな行動が地球温暖化防止に役立ちます!

*気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の報告。世界気候機関と国際連合気候計画により1988年に設立された。地球温暖化に関する最新の科学的知見を収集、評価する組織。



送付先

練馬区 環境課 地球温暖化対策係
 〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6丁目12番1号
 FAX: 03-5984-1227 TEL: 03-5984-4705
 URL: <https://www.city.nerima.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/kankyogakushu/ecolifecheck/index.html>



練馬区では、みなさまがごのくらくらエコライフに取の種んなかかなどを毎日検証しています。ご協力いただける方は、FAXまたは郵送にて、チェックシートをご送付ください。学校から配布を受けた方は、学校へ郵送してください。よろしくお願ひいたします。
 (IPCC)の加盟国
 1972年設立

エコライフチェックシートのつけ方

- ① あなたの自身の「エコライフデー」をご自分で決め、その日は、意識してQ1～Q12の取組に挑戦してみてください。
- ② エコライフに気を付けて、実行できた項目はチェック欄の「エコライフデー」に○をつけ、実行できなかった項目には×をつけます。
- ③ 普段からしている項目はチェック欄の「普段は？」に○をつけ、していない項目には×をつけます。

記入例

- 例1 エアコンの使用時間を短くした
- 例2 要らない紙をメモ用紙として使った

エコライフチェック 12項目

エコライフデー
 (月 日)
 前年(令和元年)の
 エコライフデーの
 CO₂の量
 1日で減らした
 CO₂の量
 実率(%)

Q1	テレビをつけている時間を少なくした	21グラム	80%
Q2	長時間使わない電気器具のコードをコンセントから抜いた	62グラム	67%
Q3	フロアマットを使って掃除機の使用時間を短くした	20グラム	59%
Q4	買い物するときにマイバッグを持って行った	31グラム	81%
Q5	冷蔵庫の扉を開けている時間を短くした	8グラム	94%
Q6	冷房の設定温度を1℃上げた	38グラム	実数していない
Q7	食事や給食を残さずに食べた	44グラム	92%
Q8	手洗いや、水を出しっぱなしにしない	20グラム	実数していない
Q9	入浴後はお風呂のフタを閉めた	107グラム	82%
Q10	ドライヤーの前にタオルで髪をしっかりと拭いて乾かした	27グラム	91%
Q11	マイボトルを持ち歩いた	69グラム	63%
Q12	近いところへは車に乗らないで、歩きか自転車で行った	266グラム	91%

《高校生・大人用》 表

チェック欄

該当するところに 記入例

住所 区内在住 区外在住

「はい」の時は○、「いいえ」は×を記入してください。

「はい」の時は○、「いいえ」の時は×をなぞります。

例1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	例1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
例2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	例2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

エコライフデー (月 日)	普段は?		普段は?
Q1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q3	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q4	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q5	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q6	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q7	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q8	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q9	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q10	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q11	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q12	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

11月6日(金)までに、
 FAXまたは郵送にてご送付ください。
 (学校から配布を受けた方は、学校が指定する
 期日までに学校へ提出してください)

1

エコクロスワード

タテ・ヨコの方向(四角)を読んで、上のパズルを完成させよう。
すべてひらがなで答えて下さい。

タテのカギ

- 水素などの燃料と空気中の酸素を反応させ、発生した電気エネルギーで走る車を○○○○○○○○自動走行車(VE)という。
- 地球温暖化が進むことで、気温や降水量などの気候に変化を及ぼすことを○○○○○○○○という。
- 国内の温室効果ガスはほとんどは○○○○○○○○発電でつくられている。
- 環境に配慮した生活を○○○○○○○○という。

ヨコのカギ

- 地球全体の平均気温が急激に上がり始めている現象を○○○○○○○○温暖化という。
- 節電や節水など、エネルギーを大切に、消費よく使うことを○○○○○○○○という。
- 地元でとれた野菜などを運ぶことを○○○○○○○○地産という。
- 地球温暖化の原因となる二酸化炭素などは○○○○○○○○○○ガスと呼ばれる。
- 廃棄物などを燃料やエネルギー源として有効利用することを○○○○○○○○○○という。
- 7月から○○○○○○○○○○が有料になった。

あなたのエコライフデー 月 日に 日

Q1~Q12の項目のうち ○がついた数はいくつですか？

○の数が...

9
個以上

5~8
個

1~4
個

優秀です!

エコライフには様々な取組があります。これからは選別を頑張ります。

○の数をいつでも報告できるように、できることから選別をお願いします。

エコライフは様々な取組があります。これからは選別を頑張ります。

○の数をいつでも報告できるように、できることから選別をお願いします。

エコライフデーは×がつき、エコライフデーに○がついた項目の「1日」で減らせるCO₂の量を全部足してみましょう！

あなたがエコライフに取り組んだ結果、普段より何グラムのCO₂が減らされましたか？

エコライフチェックの結果について

昨年(令和元年)の秋、藤原区内の小中学生を中心に40,601人と19事業所がエコライフチェック12項目にとりくみました。削減できた二酸化炭素の量は、256トン(事業所分含む)です。これは、ケヤキの木、約16,000本が1日に吸収できる二酸化炭素の量となります。

エコライフチェックの結果について

昨年(令和元年)の秋、藤原区内の小中学生を中心に40,601人と19事業所がエコライフチェック12項目にとりくみました。削減できた二酸化炭素の量は、256トン(事業所分含む)です。これは、ケヤキの木、約16,000本が1日に吸収できる二酸化炭素の量となります。

回答結果を機械で読み取るため、
ここには何も書かないでください。

2 藤原区 環境課

47

令和元年度個人用エコライフチェックレポート
 ≪小中学生用≫ 表

エコライフ チェックレポート

2020年

ストップ! 地球温暖化 ねりま大作戦2020

みんながとりくんだ
エコライフチェックの経業を
お知らせするねり!



aujo

令和2年度(2020年度)も、練馬区内の小中学生、区民のみなさまおよび事業所のみならずまでエコライフにとりくみ、二酸化炭素の排出量を減らすことに挑戦しました。たくさんの方にご協力いただいたおかげで、今年度も多くの成果がありました!

冬のエコライフ 上手な換気の仕方

今年の冬はコロナ対策として、換気以上に換気を心がける方も多く思われます。しかし、換気の方法によっては、部屋の空気が寒くなってしまい、翌日のための準備でたくさんエネルギーを使ってしまいます。換気をできるだけ省きます。エコに換気するポイントをご紹介します!

空気の通り道をつくらう!

部屋に空気の通り道を作ること、寒い部屋で換気よく換気ができます。効果的なのは部屋の対向壁にある2箇所窓を開けることです。窓が開けられない場合は、換気扇を窓に付ける。換気扇を二階に使うなど、部屋の空気を外に出すような流れを作りましょう!換気を使うときにも、前編で空気を蓄積させると換気よく換気できます。



対向壁にある窓を開こう!
換気扇の設置場所も確認しよう!
換気扇が壊れている場合は修理を依頼しよう!

部屋を暖めてから、換気しよう!

冬の間や、外から帰ってきた場合には、まず部屋を暖め、部屋が暖まってから換気をするようにしましょう。換気をするときは、換気扇や窓を開けて暖かい空気が逃げないように、暖かい空気が下がりやすく、寒さが逃げにくいので、換気扇の使用を控えて快適に暮らすことができます!



暖めておく!
暖めてから換気!
換気後は熱を逃がさないようにしよう!

換気の時は、部屋から熱を逃がさず、空気をいれないようにすることで、同じ室温でも暖房器具を使うエネルギーを少なくすることが出来ます。壁が一面曇るのには、窓からのので、換気扇のカーテンを閉める、窓ガラスに断熱シートを貼るなど、いろいろな工夫をしてみてください!

エコライフチェックとは?

エコライフチェックとは、区民のみなさまの日常生活におけるエコライフを促進し、脱炭素を促すことを目的として、練馬区が平成18年度(2006年度)から毎年実施しているものです。年度ごとに自分のエコライフのよりみきを自己チェックします。このエコライフチェックレポートは、みなさまのエコライフとふたの日のとりくみをかすことで、みなさまのがんばりが二酸化炭素の削減などのくらしい効果があったかを示し、今後のエコライフに役立ててもらったためのものです。

参加した人数
過去最多の参加人数です!
このうち、小学生は15,578人、中学生は10,492人参加してくれました!

42,225人

参加した二酸化炭素の量
同じ量の二酸化炭素を吸収するには、幹の太さ20cmのケヤキの木が17,169本必要です!
* 幹の太さが20cmのケヤキ1本の二酸化炭素吸収量を1日あたり0.16kgとして計算しています。

2.75トン

参加した事業所数
参加した二酸化炭素の量
減らした二酸化炭素の量
減らした二酸化炭素の量

18事業所

26.3kg

ストップ!地球温暖化ねりま大作戦は、東京都環境局が主催する活動を、国内各地の多くの人が応援していたため、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が実施している「東京2020年夏季プログラム(前編・後編)」に企画向けられているうちの1つ、「東京2020大会における市民によるCO₂削減・脱炭素活動」に参加しました。ねりま大作戦2020の活動の様子も、入会公式ウェブサイトにて紹介されていますので、チェックしてみてください。

お問い合わせ
練馬区環境部環境課 地球温暖化対策係
TEL: 03-5984-9705 FAX: 03-5984-1227
E-mail: KANKYO@OUJOU03@city.nerima.tokyo.jp

練馬区環境部環境課 地球温暖化対策係
〒176-8501 東京都練馬区豊玉6-12-1
TEL: 03-5984-9705 FAX: 03-5984-1227
E-mail: KANKYO@OUJOU03@city.nerima.tokyo.jp

エコライフ推進センター
EcoLife Center

わたしたちの生活のどんな行動から二酸化炭素が出てくるかな？

エコライフの大切さはわかるけど、ついつい忘れてしまったり、いつもの生活のどんな生活のどんな生活で二酸化炭素が出てくるかを意識すると、エコライフが身につくようになります。わたしたちの生活の中で、二酸化炭素が出る主な行動は以下の4つです。

水道を使う

水をきれいにするときや水道に送るときはポンプに電気を燃料として使います。二酸化炭素が出ています。

ごみを捨てる

ごみを燃やしたり埋め立てたりするとき、二酸化炭素が出ています。

電気を使う

学校やみなさまの家庭で使う電気は、作るときに二酸化炭素が出ています。

燃料(ガソリンなど)を使う

お湯を沸かしたり、自動車を運転したりするときにガスやガソリンを燃やすことで、二酸化炭素が出ています。

たとえば、水をきれいにするときや水道に送るときに電気を燃料を使います。水道を使う時間を少なくすれば、その分、電気を燃料を使う量が減ります。手洗いや歯みがきするとき水を出しっぱなしにしなければ「水道を使う」量が減ります。→「二酸化炭素の排出量が減る」ということでエコライフが実現できます。

みなさまも一日の生活を思い出し、どんな行動から二酸化炭素が出ているか考えて、左側のチェック項目の達成を考え(みまよう)！

ポイント 1 みんなの日に比べて多くの人がとりくめたのは、「テレビをつけている時間を少なくした」でした。

ポイント 2 もっとも二酸化炭素を減らせたのは、「近いところへは車に乗らないで、歩きか自転車で行った」でした。

エコライフチェック項目	1日で減らせる二酸化炭素(g)	とらえた人の割合	かたの目	エコライフデー	かたの目より減らした二酸化炭素(トント)
Q1 テレビをつけている時間を少なくした	21	やった 47% ↑36%	やった 83%	やった	0.31
Q2 長時間使わない電気器具のコードをコンセントから抜いた	62	やった 44% ↑25%	やった 67%	やった	0.60
Q3 フロアモップを使って掃除機の使用時間を短くした	20	やった 44% ↑17%	やった 61%	やった	0.14
Q4 重い物を持つときにマイバッグを持って行った	31	やった 90% ↑5%	やった 93%	やった	0.04
Q5 冷蔵庫の扉を開けている時間を短くした	8	やった 81% ↑13%	やった 94%	やった	0.04
Q6 部屋の設定温度を1℃上げた	38	やった 52% ↑12%	やった 64%	やった	0.18
Q7 鉛筆や鉛筆を減らすに食べた	44	やった 85% ↑7%	やった 92%	やった	0.14
Q8 手洗いや、水を出しっぱなしにしない	20	やった 74% ↑15%	やった 89%	やった	0.12
Q9 入浴後はお風呂のフタを閉めた	107	やった 78% ↑5%	やった 83%	やった	0.22
Q10 ドライヤーの前にタオルで鏡をしっかりとぬいで乾かした	27	やった 84% ↑8%	やった 92%	やった	0.09
Q11 マイボトルを持ち歩いた	69	やった 70% ↑6%	やった 76%	やった	0.18
Q12 近いところへは車に乗らないで、歩きか自転車で行った	266	やった 86% ↑6%	やった 92%	やった	0.69
合計		やった 70% ↑12%	やった 82%	やった	2.75

エコライフチェック項目	「はい」と答えた割合	どんなことに役立つか
質問 1 プラスチックごみ削減のため、レジ袋が有料になったことを知っている	98%	プラスチックの削減を減らすことは、海の生き物を守ることに、地球温暖化を遅くすることにつながります。
質問 2 室内の電気のほとんどは省エネ電球であることを知っている	61%	削減をすることは、二酸化炭素の排出量を減らし、地球温暖化を遅くすることにつながります。
質問 3 25区で「蓄積があるのは緑地である」と知っている	77%	生き物や樹木を大切にすることは、地球の環境を守ることにつながります。

資料編 5 1日の二酸化炭素排出削減量・ガソリン削減量の算出根拠

令和2年度個人用エアコンライフチェック項目の計算根拠

※各出典資料の更新により昨年度の数値とは異なる場合があります。
※CO2削減量は小数点以下を四捨五入

計算は小数点第2位を四捨五入
夏間電力は8.22時

項目	CO2削減量 削減効率	単位	業っぱ	条件(凡数字は出典番号)	計算過程	出典
Q1	21 458.6	g-CO2/日 kJ	1.0	1日1時間テレビ(32V型液晶)を見る時間を減らした割合 :年間で電気16.79kWhの省エネ...① -CO2排出係数:0.455 kg-CO2/kWh = 455 g-CO2/kWh...② 熱量変換:1kWh=9.970kJ(-一次エネルギー換算:夏間)	16.79(kWh/年)÷365(日/年)×455(g-CO2/kWh)=20.9(g-CO2/日) [J換算]16.79(kWh/年)÷365(日/年)×9.970(kJ/kWh)=458.6(kJ/日) [ガソリン換算]458.6(kJ/日)÷34.600(kJ/L)=0.0133(L)=13.3(ml)	①[家賃の省エネ徹底ガイド(2017年8月発行)](資源エネ) p.8 ②[TEPCO統合報告書2019](東京電力ホールディングス(株))p.87
Q2	62 1,351.0 39.0	g-CO2/日 kJ ml	3.1	テレビ、エアコン、パソコンについて、待機時間中それぞれプラグを抜いた場 合 :出典資料の待機消費電力:228kWh/年・世帯...① うちテレビの待機消費電力:22.79kWh エアコンの待機消費電力:17.68kWh パソコンの待機消費電力:8.81kWh -CO2排出係数:0.455 kg-CO2/kWh = 455 g-CO2/kWh...② 熱量変換:1kWh=9.970kJ(-一次エネルギー換算:夏間)	(22.79+17.68+8.81)(kWh)÷365(日/年)×455(g-CO2/kWh)=61.7(g-CO2/日) [J換算]61.7(kWh/年)÷365(日/年)×9.970(kJ/kWh)=1,351.0(kJ/日) [ガソリン換算]1,351.0(kJ/日)÷34.600(kJ/L)=0.0390(L)=39.0(ml)	①[平成24年度エネルギー使用合理化促進事業推進事業 実施計画(資源エネ)報告書(2016年2月)](一般財団 法人地球環境センター) p.10 ②[TEPCO統合報告書2019](東京電力ホールディングス(株))p.87
Q3	20 448.0 12.9	g-CO2/日 kJ ml	1.0	1日3分間掃除機を使用する時間を減らした場合 :年間で電気16.4kWhの省エネ...① -CO2排出係数:0.455 kg-CO2/kWh = 455 g-CO2/kWh...② 熱量変換:1kWh=9.970kJ(-一次エネルギー換算:夏間)	16.4(kWh/年)÷365(日/年)×455(g-CO2/kWh)=20.4(g-CO2/日) [J換算]16.4(kWh/年)÷365(日/年)×9.970(kJ/kWh)=448.0(kJ/日) [ガソリン換算]448.0(kJ/日)÷34.600(kJ/L)=0.0129(L)=12.9(ml)	①[家賃の省エネ徹底ガイド(2018年3月発行)](東京都) p.2 ②[TEPCO統合報告書2019](東京電力ホールディングス(株))p.87
Q4	31 388 11.5	g-CO2/日 kJ ml	1.5	レジ袋(枚:6.8g)をもらわずに買い物した等名のレジ袋の原料採取、製 造、輸送及び廃棄物の処理に伴う排出量が削減できると想定 +HDPE(高密度ポリエチレン)の原料採取→輸入→石油精製→原料製造→製 品製造(1)における二酸化炭素排出量:4.531 g-CO2/g...① +HDPE(高密度ポリエチレン)の原料採取→輸入→石油精製→原料製造→製 品製造(2)におけるエネルギー削減係数:56.532 kJ/g...①	6.8(g)×4.531(g-CO2/g)=30.8(g-CO2/日) [J換算]30.8(g)×8.332(kJ/g)=398.0(kJ/日) [ガソリン換算]398.0(kJ/日)÷34.600(kJ/L)=0.0115(L)=11.5(ml)	①別冊「3R行動見える化ツール」に係る3R行動原単位の算出方法(平成29年3月)(環境省) p.85-86 ②別冊「3R行動見える化ツール」に係る3R行動原単位の算出方法(平成29年3月)(環境省) p.86
Q5	8 166.6 4.8	g-CO2/日 kJ ml	0.4	冷蔵庫を開けている時間が20秒間の場合と10秒間の場合との比較 :年間で電気6.10kWhの省エネ...① -CO2排出係数:0.455 kg-CO2/kWh = 455 g-CO2/kWh...② 熱量変換:1kWh=9.970kJ(-一次エネルギー換算:夏間)	6.10(kWh/年)÷365(日/年)×455(g-CO2/kWh)=7.6(g-CO2/日) [J換算]7.6(kWh/年)÷365(日/年)×9.970(kJ/kWh)=166.6(kJ/日) [ガソリン換算]166.6(kJ/日)÷34.600(kJ/L)=0.0048(L)=4.8(ml)	①[家賃の省エネ徹底ガイド(2017年8月発行)](資源エネ) p.5 ②[TEPCO統合報告書2019](東京電力ホールディングス(株))p.87
Q6	38 826.0 23.9	g-CO2/日 kJ ml	1.9	外気温31°Cのとき、エアコン(2.2kW)の冷房設定温度を27°Cから28°Cにして9 時間使用した場合 :年間で電気30.24kWhの省エネ...① -CO2排出係数:0.455 kg-CO2/kWh = 455 g-CO2/kWh...② 熱量変換:1kWh=9.970kJ(-一次エネルギー換算:夏間)	30.24(kWh/年)÷365(日/年)×455(g-CO2/kWh)=37.7(g-CO2/日) [J換算]30.24(kWh/年)÷365(日/年)×9.970(kJ/kWh)=826.0(kJ/日) [ガソリン換算]826.0(kJ/日)÷34.600(kJ/L)=0.0012(L)=1.2(ml)	①[家賃の省エネ徹底ガイド(2017年8月発行)](資源エネ) p.5 ②[TEPCO統合報告書2019](東京電力ホールディングス(株))p.87

令和2年度個人用エアコンライフチェック項目の計算根拠

計算は小数点第2位を四捨五入
昼間電力は8-22時

※各出典資料の更新により昨年度の値とは異なる場合があります。

※CO2削減量は小数点以下を四捨五入

項目	CO2削減量 削減率/削減率	単位	業つば	集件(丸数字は出典番号)	計算過程	出典
食卓や給 水定まる ずらなくなった	44	g-CO2/日	2.2	●食料の買い取りに食品を納入して消費することで、農林水産業で使用する石油製品、化学肥料、飼料・食品加工で使用する石油製品、食品の輸送に使用される燃料のうち、食品ロスに係る分を削減できたとする。 ●農林水産業によるCO2排出に係る指標 ・農林水産業による石油製品消費量 220,585 TJ(H30年度)・・・① ・燃料・食品製造によるCO2排出に係る指標 ① 飲料・食品製造による石油製品消費量 23,527 TJ(H30年度)・・・① ② 食品製造によるCO2排出に係る指標 ③ 化学肥料製造による石油製品消費量 40,717 TJ(H30年度)・・・① ④ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑤ 化学肥料製造による石油製品消費量 1,578,982 TJ(H30年度)・・・① ⑥ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑦ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑧ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑨ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑩ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑪ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑫ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑬ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑭ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑮ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑯ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑰ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑱ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑲ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ⑳ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉑ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉒ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉓ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉔ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉕ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉖ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉗ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉘ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉙ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉚ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉛ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉜ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉝ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉞ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㉟ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊱ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊲ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊳ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊴ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊵ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊶ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊷ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊸ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊹ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊺ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊻ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊼ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊽ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊾ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ㊿ 化学肥料製造によるCO2排出に係る指標 ① 日本の総人口: 128,501,966 (平成31年4月1日時点)・・・④ ② 食料自給率: 37%(H30年度)・・・⑤ ③ 食品ロス: 3.7%(H26年度)・・・⑥ ④ 原油のCO2排出係数: 0.06886g-CO2/kJ・・・⑦	●農林水産業における石油製品の使用によるCO2排出量 ※ $1,000,000,000(kJ/TJ) \times 3.7(\%) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ② 飲料・食品製造によるCO2排出 $23,527(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ③ 食品製造によるCO2排出 $40,717(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ④ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑤ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑥ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑦ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑧ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑨ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑩ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑪ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑫ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑬ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑭ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑮ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑯ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑰ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑱ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑲ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ⑳ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉑ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉒ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉓ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉔ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉕ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉖ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉗ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉘ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉙ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉚ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉛ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉜ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉝ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉞ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㉟ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊱ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊲ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊳ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊴ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊵ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊶ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊷ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊸ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊹ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊺ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊻ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊼ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊽ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊾ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$ ㊿ 化学肥料製造によるCO2排出 ※ $1,578,982(TJ/年) \times 128,533,652(人) \times 3.7(\%) \times 0.06886(g-CO2/kJ) = 385(日/年) \times 1,000,000,000(kJ/TJ)$	① 総合エネルギー統計 エネルギーバランス表(2016年) (資源エネルギー庁) ② 総合エネルギー統計 エネルギーバランス表(2016年) (資源エネルギー庁) ③ 自動車輸送統計年報 業態別・車種別・品目別輸送トン数(平成30年度分) (国土交通省) ④ 人口統計 令和2年(令和元年)11月推定値(平成30年度分) (国土交通省) ⑤ 人口統計 令和2年(令和元年)4月推定値(平成28年度) (農林水産省) p1 ⑥ 食品ロス統計調査 世帯調査(平成28年度) (農林水産省) p1 ⑦ 地方公共団体実行計画(区域政策編)策定・実施マニュアル(算定方法編)(Ver1.0) (平成28年3月環境省) p267
	同上	同上	同上	同上	●全体 32.8(g-CO2/日) + 1.3(g-CO2/日) + 2.9(g-CO2/日) + 6.7(g-CO2/日) = 43.8(g-CO2/日) ※ 農林水産業および化学肥料の使用に関しては、海外からの輸入分に使用された石油製品消費量が考慮されていないことから、食料自給率で割ることで海外からの輸入分も考慮した数値としています。 ・[換算] 478.6(kJ/日) + 18.9(kJ/日) + 3.2(kJ/日) + 4.4(kJ/日) + 97.1(kJ/日) = 542.2(kJ/日) ・[ガソリン換算] 164.2(kJ/日) ÷ 34,600(kJ/L) = 0.0185(L) = 18.6(ml) ① ネットリサーチチームスドライブHP「手洗い(清潔感)とハンドソープに関するアンケート」 http://www.djms.ne.jp/timelyresearch/2015/15115/ ② その他排水排出量算定ガイドライン 2018(令和元年)年10月(東京都環境局) p20	
Q8 手洗い中 水を出しっぱなしにした かった	20	g-CO2/日	1.0	●石鹸を使用した手洗いの回数を30秒とし、その間水道を止めると 水を出しっぱなしの回数: 5回/日と仮定・・・① ●CO2排出係数(水道及び工業用水道の水の使用): 0.288 t-CO2/千m ³ = 288 g/m ³ ・・・② ●CO2排出係数(公共下水道への排水): 0.400 t-CO2/千m ³ = 400 g-CO2/m ³ ・・・③ ●東京都水道における配水量(H30): 1,540,896,000m ³ ・・・④ ●エネルギー使用量(H30): 8,314 TJ・・・⑤ ●単位エネルギー量: 5,395.6 kJ/m ³ (④÷③) ●東京都下水における単位エネルギー量(H29): 9429kJ/m ³ ・・・⑥	③ 事業概要 令和5年版 統計資料(東京都水道局) p17 ④ 環境報告書2019 2019年10月発行(東京都水道局) p11 ⑤ 平成29年度 東京都下水道局環境・エネルギー報告書(東京都下水道局) p3 ⑥ エネルギーの使用の合理化に関する法律 省エネ法の概要(平成29年度) p59	
Q9 入浴後は お風呂の ふたを閉 めた	107	g-CO2/日	5.3	●200Lの浴槽のお湯(40℃)が4時間後に下がる温度はふたの有無で3℃、ふた無しの場合と仮定して、40℃まで冷めるときに発生するCO2排出係数(都市ガス(東京都)): 2.210g/m ³ = 2.210g/m ³ ・・・① ●都市ガスの発熱量: 45MJ/m ³ ・・・②	① 家庭の省エネハンドブック2018(東京都、2018年) ② 家庭のお湯向けFAQ! 都市ガスの二酸化炭素排出量について知りたい。 https://support.tokyo-gas.co.jp/pmc/faq/2197?site_domain=apan ③ 都市ガスの種類・熱量・圧力・成分(東京都ガス) https://home.tokyo-gas.co.jp/gas/userguide/shuru.html ④ TEPCO統合報告書2019(東京電力ホールディングス株) p87	
Q10 ドライヤー の先にタ オルを巻 きつけて 乾かした	27	g-CO2/日	1.4	●1日3分間(200W)のドライヤーを使用する時間を減らした場合 CO2排出係数: 0.495 kg-CO2/kWh = 495 g-CO2/kWh・・・① ●熱量変換: 1kWh=9,070kJ(一次エネルギー換算) (国)	① エネルギーの使用の合理化に関する法律 省エネ法の概要(平成29年度) p59 ② エネルギーの使用の合理化に関する法律 省エネ法の概要(平成29年度) p59	
	598.2	kJ		●[換算] 1.2(MW) × 0.05(h) × 455(g-CO2/kWh) = 27.3(g-CO2/日)		
	62.7	ml		●[ガソリン換算] 17.69(kJ/日) ÷ 34,600(kJ/L) = 0.0133(L) = 13.3(ml)		
	17.3	ml		●[換算] 17.69(kJ/日) ÷ 34,600(kJ/L) = 0.0133(L) = 13.3(ml)		

令和2年度個人用エコライフチェック項目の計算根拠

計算は小数点第2位を四捨五入
昼間電力は8-22時

※各出典資料の更新により昨年度の数値とは異なる場合があります。

※CO₂削減量は小数点以下を四捨五入

項目	CO ₂ 削減量		単位	業つば	条件(丸数字は出典番号)	計算過程	出典
	削減効果	削減効果					
Q11 マイボトルを持ち歩いた	69	g-CO ₂ /日	3.4		マイボトルを持ち歩くことで、ペットボトルの購入を控えたと仮定 ・ペットボトル1本の製造時・原料などの輸送時・廃棄時のCO ₂ 排出量 5.11g-CO ₂ /g-① ・ペットボトル販売量(2017年) 1,597,004 (2018年) 926,000-② ・ペットボトル回収量(2017年) 1,597,004 (2018年) 926,000-③ ・日本の総人口: 126,501,966 126,253,652人(平成31年4月1日時点)・・・④ ・ペットボトル1本の製造時・原料などの輸送時・廃棄時の天然資源使用量: 94.30(kJ/g)・・・⑤ ・ペットボトル1個(除却用500ml)1本の重量: 18g・・・⑥	①別冊「3R行動見える化ツール」に係る3R行動原単位の算出方法(平成28年3月)(環境省) ②PETボトルリサイクル年次報告書2018「PETボトルリサイクル推進協議会」p6 ③人口推計 令和2年4月報(令和元年(2019年)11月確定値 令和2年(2020年)4月推定値) (2020年4月20日公表) / 総務省統計局	
近いところへは車 で、遠くは徒歩 で行った	266 3,965.2	g-CO ₂ /日 kJ	13.3		+ガソリン変換: 1L=34.60MJ ・1日暮らし(1日)の通勤・通学・自家用車の使用を控えた場合(往復2km) ・CO ₂ 排出係数(2016年度自家用車用車) =0.137/0.1336=CO ₂ /人km=137/1336=CO ₂ /人km・・・① +ガソリン一燃量変換: 1L=34.60MJ +ガソリン変換: 単位燃費量 34.6(GJ/L) × 排出係数 0.183(tC/GJ) × 44/72 =単位当たり二酸化炭素排出量 2.322 (kg-CO ₂ /l)	①別冊「3R行動見える化ツール」に係る3R行動原単位の算出方法(平成28年3月)(環境省) ②エネルギーの使用の合理化に関する法律 省エネ法の概要(平成29年度)JISB ③国土交通省PIF運輸部門における二酸化炭素排出量(2018年度 令和2年4月22日更新) ④エネルギーの使用の合理化に関する法律 省エネ法の概要(平成29年度)JISB ⑤特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガス排出量の算定に関する省令「経済産業省 環境省」	

資料編6 二酸化炭素排出削減量の例えに関する根拠

★R02年度結果

エコライフ-CO ₂ 削減量(R02個人用)	①	2,747 (トン/日)
参加人数(R02全体)	②	42,225 (人)
区立の小中学生数(令和2年5月1日現在)	③	46,649 (人)
区民人口(令和3年3月1日現在)	④	739,246 (人)
年間日数	⑤	365 (日/年)
エコライフ-CO ₂ 削減量(全小中学生が1年間続けた場合)	⑥=①÷②×③×⑤	1,108 (トン/年)
エコライフ-CO ₂ 削減量(全区民が1年間続けた場合)	⑦=①÷②×④×⑤	17,554 (トン/年)

○ケヤキCO₂吸収量換算

前提条件

- 直径20cmのケヤキ1本が吸収するCO₂量
一日あたり 58.9 (kg/本/年) ……⑧
0.16 (kg/本/日) ……⑨
- (出典) 国土交通省 国土技術政策総合研究所 緑化生態研究室
<http://www.nilim.go.jp/lab/ddg/naivo/co2/co2.html>

計算

- 1) 参加者によるエコライフ1日の削減量の換算
①÷⑨×1,000
= 2,747(トン/日) ÷ 0.16(kg/本/日) × 1,000
= 17,169 (本)
- 2) 区立小中学生による年間削減量の換算
⑥÷⑧×1,000
= 1,108(トン/年) ÷ 58.9(kg/本/年) × 1,000
= 18,812 (本)
- 3) 区民全員による年間削減量の換算
⑦÷⑧×1,000
= 17,554(トン/年) ÷ 58.9(kg/本/年) × 1,000
= 298,031 (本)

○お風呂換算

前提条件

- 二酸化炭素 1kgあたりの単位体積(標準状態:0°C、1気圧) 0.509 (m³/kg) ……⑩
- 温度 17.3 (°C) ……⑪
(出典) 気象庁HP 練馬観測所における2020年10月の平均気温

ボイル・シャルルの法則(気体の体積は、絶対温度に比例し、圧力に反比例する)より、上記条件時(1気圧、18.4°C)のCO₂単位体積は次のようになる

$$\begin{aligned} & \textcircled{10} \times (273 + \textcircled{11}) / 273 \\ &= 0.509 (\text{m}^3/\text{kg}) \times (273 + 17.3) \div 273 \\ &= 0.541 (\text{m}^3/\text{kg}) \quad \dots\dots \textcircled{12} \end{aligned}$$

- お風呂1杯の容積 0.25 (m³/杯) ……⑬
(出典) メーカー資料

計算(参加者によるエコライフ1日の削減量の換算)

$$\begin{aligned} & \textcircled{1} \times \textcircled{12} \div \textcircled{13} \times 1000 \\ &= 2,747 (\text{トン/日}) \times 0.541 (\text{m}^3/\text{kg}) \div 0.25 (\text{m}^3/\text{杯}) \times 1,000 \\ &= 5,945 (\text{杯/日}) \end{aligned}$$

○森林面積換算

前提条件

- 森林が1年間に吸収する炭素(C)の量 0.86 (t-C/ha/年)
 - 二酸化炭素(CO₂)吸収量への換算(×44÷12) 3.15 (t-CO₂/ha/年) ……⑭
 - 一日あたり二酸化炭素吸収量 0.0086 (t-CO₂/ha/日) ……⑮
- (出典) 国立研究開発法人 森林総合研究所 <https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/seikasenshu/2001/18matsumoto.html>

計算

- 1) 区立小中学生全員が毎日エコライフを実践した場合の削減量の換算
⑥÷⑭
= 1,108(トン/年) ÷ 3.15(t-CO₂/ha/年)
= 352 (ha) → 練馬区の面積(4,816ha)の約1/10
- 2) 全区民が毎日エコライフを実践した場合の削減量の換算
⑦÷⑭
= 17,554(トン/年) ÷ 3.15(t-CO₂/ha/年)
= 5,573 (ha) → 練馬区の面積(4,816ha)の約1.2倍

資料編7 事業所用エコライフチェック項目ごとの実施率・二酸化炭素排出削減
 量・光熱費等年間節約金額・ガソリン削減量

事業所用エコライフチェック項目ごとの実施率

R02

属性	参加区分数 参加者数	エコライフデー/ 普段の日	Q1-7各項目の実施率							Q1-7 平均実施率
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	
全事業 所	参加	エコライフデー	100.0	88.9	66.7	100.0	82.4	100.0	100.0	91.1
		普段の日	77.8	55.6	44.4	88.9	58.8	88.9	94.1	72.6
	18	差	22.2	33.3	22.3	11.1	23.6	11.1	5.9	18.5

単位:%

事業所用エコライフチェック項目ごとの二酸化炭素排出削減量

R02

属性	参加区分数 参加者数	エコライフデー/ 普段の日	Q1-7各項目の二酸化炭素排出削減量							Q1-7 合計
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	
全事業 所	参加	エコライフデー	24.9	15.2	7.5	12.2	47.6	4.5	35.2	147.1
		普段の日	21.7	7.1	6.1	11.7	39.1	2.8	32.3	120.8
	18	差	3.2	8.1	1.4	0.5	8.5	1.7	2.9	26.3

単位:kg-CO₂/日

事業所用エコライフチェック項目ごとの光熱費等年間節約金額

R02

属性	参加区分数 参加者数	エコライフデー/ 普段の日	Q1-7各項目の年間節約金額							Q1-7 合計
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	
全事業 所	参加	エコライフデー	215,102	134,271	64,616	1,159,738	417,799	182,762	448,800	2,623,088
		普段の日	188,218	62,881	53,096	1,116,099	342,355	114,746	411,400	2,288,795
	18	差	26,884	71,390	11,520	43,639	75,444	68,016	37,400	334,293

単位:円/年

事業所用エコライフチェック項目ごとのガソリン削減量

R02

属性	参加区分数 参加者数	エコライフデー/ 普段の日	Q1-7各項目のガソリン削減量							Q1-7 合計
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	
全事業 所	参加	エコライフデー	15.8	9.8	4.9	2.8	29.8	1.4	14.9	79.4
		普段の日	13.8	4.6	4.0	2.7	24.4	0.8	13.6	63.9
	18	差	2.0	5.2	0.9	0.1	5.4	0.6	1.3	15.5

単位:L/日

資料編 8 令和2年度事業所用エコライフチェックシート
表

事業所用
エコライフチェックシート

ストップ! 地球温暖化

ねりま大作戦2020

ストップ!地球温暖化ねりま大作戦2020は、「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の助成金を受けて実施しています。

地球温暖化について

地球温暖化は、異常気象の増加や生態系に生じる異変など、様々な影響を引き起こすと危惧されています。地球温暖化の原因は、二酸化炭素(CO₂)等の増加によるものとされています。

2017年度の練馬区の部門別のCO₂排出量は、家庭部門が51.8%と最も多く、次に多いのが業務部門(オフィス、商業施設等)の23.3%であり、この2部門で区内のCO₂排出量の約3/4を占めています。

エコライフについて

エコライフとは、「使っていない部屋の電気は消す」など、日常の小さな行動を意識することで、地球温暖化を防止する生活スタイルです。

このチェックシートにある身近な取組でCO₂の排出を抑制することができます。ぜひ取り組んでみてください。

エコライフチェックシート(本紙裏面)の記入方法

- 1 エコライフデーを決めてください**
事業所内で「エコライフデー」を決め、裏面のエコライフデーの日付欄にご記入ください。
 - 2 チェック項目に取り組んでください**
エコライフデーは、事業所の全員で意識してQ1~Q7(裏面)の取組に挑戦してください。
 - 3 Q1~Q7の取組状況を記入してください**
エコライフデーにできた項目には「○」をつけ、できなかった項目には「×」をつけます。同様に、普段の日の状況も記入します。
 - 4 効果を確認してみてください**
エコライフデーが「○」で、普段の日が「×」であった項目のCO₂削減量に、Q1~6は延床面積を、Q7は使用する自動車数を乗じます。これらの合計値が、エコライフデーに事業所で排出削減できたCO₂の量となります。詳しくは、下記「問い合わせ」までご連絡ください。
- エコライフデーとは
各事業所においてエコライフに取り組むと決めた10月中の任意の1日です。

区内に複数事業所がある場合は
事業所単位で参加頂けます。

工場等の方は
工場等内の事務所スペースを対象に参加頂けます。

練馬区のエコライフチェックホームページもご覧ください。

練馬区エコライフチェックホームページ
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/kankyogakushu/ecolifecheck/index.html>



二次元バーコードもご利用ください。

練馬区練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」



チェックシート提供に関するご協力のごお願い <11月6日(金)締切>

練馬区では、エコライフチェックの取組状況や効果等を検証しています。ご協力頂ける事業所は、記入したチェックシートをFAXでご送付ください。(本紙裏面に取組結果を記載し、FAXでそのままご送付ください。)

問い合わせ
練馬区 環境部 環境課 地球温暖化対策係
〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6丁目12番1号
電話 03-5984-4705 FAX 03-5984-1227



ストップ!地球温暖化 わりま大作戦 は「東京2020参考プログラム(持続可能性)」の認証を受けています!

ストップ! 地球温暖化

ねりま大作戦2020

エコライフデーは 月 日!!

記入例

「はい」の時は 、「いいえ」の時は をなぞります。

エコライフデー	普段の日
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>

昨年(令和元年)のエコライフデーの実施率

CO₂削減量

Q	実施内容	実施率	削減量	エコライフデー	普段の日
Q1	使用していないエリア(会議室、事務室、休憩室等)や不要な場所(駐車場、外部照明等)は消灯した	100%	3.3 g/m ² ・日	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
Q2	長時間席を離れるときは、OA機器(パソコン、コピー機)の電源を切るか、省エネルギーモードにした	84%	2.2 g/m ² ・日	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
Q3	お昼休みは、執務スペース等の照明の使用を半分程度に減らした	90%	1.4 g/m ² ・日	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
Q4	手洗いや湯飲み等を洗う際に、水*を出しっぱなしにしなかった ※1人、1日当たり1分間、節水した場合	100%	1.6 g/m ² ・日	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
Q5	冷房の設定温度を2℃上げた	83%	7.7 g/m ² ・日	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
Q6	紙の使用を意識して減らした	95%	0.6 g/m ² ・日	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
Q7	自動車の利用時にエコドライブ(ゆるやかなアクセル操作 ^{※1} やアイドリングストップ ^{※2})をした ※1:最初の5秒で20km/hになるくらい ※2:踏切待ちなど5秒以上停止する場合	100%	732.9 g/台・日	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>

事業所の規模

CO₂の排出削減量の算出に用います。

延床面積

坪数は3.3m²/坪を乗じるとm²になります。工場等においては、エコライフ(おおよその面積をご記入ください)に取り組んだ事務所スペースのおおよその面積をご記入ください。約 m²

会社が使用する自動車数 (二輪車は除きます。)

 台

練馬区 環境部 環境課 地球温暖化対策係

FAX 03-5984-1227 11月6日(金)送付締切

(本面のみFAXで、そのままご送付ください。)

資料編 9 1日の二酸化炭素排出削減量・年間節約金額・ガソリン削減量の算出根拠

計算は小数第2位を四捨五入
昼間電力は8:22時
夜間電力は22:58時

令和2年度事業所用エコライフチェック項目の計算根拠

※目的の数値の算出に關しては、小数第2位を四捨五入している。

項目	CO2削減率算出 (g-CO2/m ² ・日) (円/m ² ・年) (削減率) (%) (削減率) (%) (削減率) (%) (削減率) (%) (削減率) (%) (削減率) (%) (削減率) (%)	条件(丸数字は出典番号)	計算過程 上段:CO2削減量 下段:年間節約金額	出典
01 使用してないエコライフ(金庫、事務所、外部照明等)は消灯した	3.3 g-CO2/m ² ・日	電力消費の標準値:0.5178 kWh/m ² ・日…① 電力消費の内訳(空調を除く):照明46%…② 建物全体(延床面積)に対する節電効果:3%…③ CO2排出係数:0.455 kg-CO2/kWh = 455 g-CO2/kWh…④ 電気の単価:16 円/kWh…⑤ 年間労働日数:250日/年	$0.5178(\text{kWh/m}^2\cdot\text{日}) \times 46(\%) \times 3(\%) = 3.3(\text{g-CO2/m}^2\cdot\text{日})$ $0.5178(\text{kWh/m}^2\cdot\text{日}) \times 46(\%) \times 3(\%) \times 16(\text{円/kWh}) \times 250(\text{日/年}) = 28.6(\text{円/m}^2\cdot\text{年})$ 〔計算〕0.5178(kWh/m ² ・日) × 46(%) × 3(%) × 9.970(kJ/kWh) = 71.2 (kJ/m ² ・日) 〔計算〕71.2 (kJ/m ² ・日) ÷ 34.600(kJ/L) = 2.06 (L/m ² ・日) 〔計算〕71.2 (kJ/m ² ・日) ÷ 36.700(kJ/L) = 1.94 (L/m ² ・日)	①「天然ガス・エネルギー・オンライン」計画設計マニュアル2008」(住)日本エネルギー学会編、日本工業出版株式会社発行 ②③夏冬の節電マニュアル平成27年度(事業者の指針)「(経済産業省)」 ④TEPCO統合報告書2019(東京電力ホールディングス(株))p67 ⑤東京電力エコライフパートナー業務用電力料金内訳電力料金(HFP) http://www.tepco.co.jp/corporate/plan/hfp/plan06.html(R02.05.08掲載時点)
	28.6 円/m ² ・年	熱量変換:1kWh=9.970kJ (一次エネルギー換算:夏間) 熱量変換:1kWh=239kcal ガソリン変換:1L=34.600MJ 灯油変換:1L=96.700MJ	〔計算〕0.5178(kWh/m ² ・日) × 46(%) × 3(%) × 9.970(kJ/kWh) = 71.2 (kJ/m ² ・日) 〔計算〕71.2 (kJ/m ² ・日) ÷ 34.600(kJ/L) = 2.06 (L/m ² ・日) 〔計算〕71.2 (kJ/m ² ・日) ÷ 36.700(kJ/L) = 1.94 (L/m ² ・日)	①天然ガス・エネルギー・オンライン」計画設計マニュアル2008」(住)日本エネルギー学会編、日本工業出版株式会社発行 ②③夏冬の節電マニュアル平成27年度(事業者の指針)「(経済産業省)」 ④TEPCO統合報告書2019(東京電力ホールディングス(株))p67 ⑤東京電力エコライフパートナー業務用電力料金内訳電力料金(HFP) http://www.tepco.co.jp/corporate/plan/hfp/plan06.html(R02.05.08掲載時点)
	71.2 kJ	電力消費の内訳(空調を除く):照明46%…① 建物全体(延床面積)に対する節電効果:3%…② CO2排出係数:0.455 kg-CO2/kWh = 455 g-CO2/kWh…④ 電気の単価:16 円/kWh…⑤ 年間労働日数:250日/年	$0.5178(\text{kWh/m}^2\cdot\text{日}) \times 46(\%) \times 3(\%) \times 9.970(\text{kJ/kWh}) = 71.2(\text{kJ/m}^2\cdot\text{日})$ $0.5178(\text{kWh/m}^2\cdot\text{日}) \times 46(\%) \times 3(\%) \times 16(\text{円/kWh}) \times 250(\text{日/年}) = 19.9(\text{円/m}^2\cdot\text{年})$ 〔計算〕0.5178(kWh/m ² ・日) × 46(%) × 3(%) × 9.970(kJ/kWh) = 71.2 (kJ/m ² ・日) 〔計算〕71.2 (kJ/m ² ・日) ÷ 34.600(kJ/L) = 2.06 (L/m ² ・日) 〔計算〕71.2 (kJ/m ² ・日) ÷ 36.700(kJ/L) = 1.94 (L/m ² ・日)	①天然ガス・エネルギー・オンライン」計画設計マニュアル2008」(住)日本エネルギー学会編、日本工業出版株式会社発行 ②③夏冬の節電マニュアル平成27年度(事業者の指針)「(経済産業省)」 ④TEPCO統合報告書2019(東京電力ホールディングス(株))p67 ⑤東京電力エコライフパートナー業務用電力料金内訳電力料金(HFP) http://www.tepco.co.jp/corporate/plan/hfp/plan06.html(R02.05.08掲載時点)
	2.1 ml	熱量変換:1kWh=9.970kJ (一次エネルギー換算:夏間) 熱量変換:1kWh=239kcal ガソリン変換:1L=34.600MJ 灯油変換:1L=96.700MJ	〔計算〕0.5178(kWh/m ² ・日) × 46(%) × 3(%) × 9.970(kJ/kWh) = 71.2 (kJ/m ² ・日) 〔計算〕71.2 (kJ/m ² ・日) ÷ 34.600(kJ/L) = 2.06 (L/m ² ・日) 〔計算〕71.2 (kJ/m ² ・日) ÷ 36.700(kJ/L) = 1.94 (L/m ² ・日)	①天然ガス・エネルギー・オンライン」計画設計マニュアル2008」(住)日本エネルギー学会編、日本工業出版株式会社発行 ②③夏冬の節電マニュアル平成27年度(事業者の指針)「(経済産業省)」 ④TEPCO統合報告書2019(東京電力ホールディングス(株))p67 ⑤東京電力エコライフパートナー業務用電力料金内訳電力料金(HFP) http://www.tepco.co.jp/corporate/plan/hfp/plan06.html(R02.05.08掲載時点)

02 長時間稼働するエアコン(床暖房)の電源を切る、省エネモードにしたら	2.2 g-CO2/m ² ・日	電力消費の標準値:0.5178 kWh/m ² ・日…① 電力消費の内訳(空調を除く):OA機器31%…② 建物全体(延床面積)に対する節電効果:3%…③ CO2排出係数:0.455 kg-CO2/kWh = 455 g-CO2/kWh…④ 電気の単価:16 円/kWh…⑤ 年間労働日数:250日/年	$0.5178(\text{kWh/m}^2\cdot\text{日}) \times 31(\%) \times 3(\%) = 2.2(\text{g-CO2/m}^2\cdot\text{日})$ $0.5178(\text{kWh/m}^2\cdot\text{日}) \times 31(\%) \times 3(\%) \times 16(\text{円/kWh}) \times 250(\text{日/年}) = 19.9(\text{円/m}^2\cdot\text{年})$ 〔計算〕0.5178(kWh/m ² ・日) × 31(%) × 3(%) × 9.970(kJ/kWh) = 48.0 (kJ/m ² ・日) 〔計算〕48.0 (kJ/m ² ・日) ÷ 34.600(kJ/L) = 1.4 (L/m ² ・日) 〔計算〕48.0 (kJ/m ² ・日) ÷ 36.700(kJ/L) = 1.3 (L/m ² ・日)	①「天然ガス・エネルギー・オンライン」計画設計マニュアル2008」(住)日本エネルギー学会編、日本工業出版株式会社発行 ②③夏冬の節電マニュアル平成27年度(事業者の指針)「(経済産業省)」 ④TEPCO統合報告書2019(東京電力ホールディングス(株))p67 ⑤東京電力エコライフパートナー業務用電力料金内訳電力料金(HFP) http://www.tepco.co.jp/corporate/plan/hfp/plan06.html(R02.05.08掲載時点)
	19.3 円/m ² ・年	熱量変換:1kWh=9.970kJ (一次エネルギー換算:夏間) 熱量変換:1kWh=239kcal ガソリン変換:1L=34.600MJ 灯油変換:1L=96.700MJ	〔計算〕0.5178(kWh/m ² ・日) × 31(%) × 3(%) × 9.970(kJ/kWh) = 48.0 (kJ/m ² ・日) 〔計算〕48.0 (kJ/m ² ・日) ÷ 34.600(kJ/L) = 1.4 (L/m ² ・日) 〔計算〕48.0 (kJ/m ² ・日) ÷ 36.700(kJ/L) = 1.3 (L/m ² ・日)	①天然ガス・エネルギー・オンライン」計画設計マニュアル2008」(住)日本エネルギー学会編、日本工業出版株式会社発行 ②③夏冬の節電マニュアル平成27年度(事業者の指針)「(経済産業省)」 ④TEPCO統合報告書2019(東京電力ホールディングス(株))p67 ⑤東京電力エコライフパートナー業務用電力料金内訳電力料金(HFP) http://www.tepco.co.jp/corporate/plan/hfp/plan06.html(R02.05.08掲載時点)
	48.0 kJ	電力消費の内訳(空調を除く):OA機器31%…① 建物全体(延床面積)に対する節電効果:3%…② CO2排出係数:0.455 kg-CO2/kWh = 455 g-CO2/kWh…④ 電気の単価:16 円/kWh…⑤ 年間労働日数:250日/年	〔計算〕0.5178(kWh/m ² ・日) × 31(%) × 3(%) × 9.970(kJ/kWh) = 48.0 (kJ/m ² ・日) 〔計算〕48.0 (kJ/m ² ・日) ÷ 34.600(kJ/L) = 1.4 (L/m ² ・日) 〔計算〕48.0 (kJ/m ² ・日) ÷ 36.700(kJ/L) = 1.3 (L/m ² ・日)	①天然ガス・エネルギー・オンライン」計画設計マニュアル2008」(住)日本エネルギー学会編、日本工業出版株式会社発行 ②③夏冬の節電マニュアル平成27年度(事業者の指針)「(経済産業省)」 ④TEPCO統合報告書2019(東京電力ホールディングス(株))p67 ⑤東京電力エコライフパートナー業務用電力料金内訳電力料金(HFP) http://www.tepco.co.jp/corporate/plan/hfp/plan06.html(R02.05.08掲載時点)
	1.4 ml	熱量変換:1kWh=9.970kJ (一次エネルギー換算:夏間) 熱量変換:1kWh=239kcal ガソリン変換:1L=34.600MJ 灯油変換:1L=96.700MJ	〔計算〕0.5178(kWh/m ² ・日) × 31(%) × 3(%) × 9.970(kJ/kWh) = 48.0 (kJ/m ² ・日) 〔計算〕48.0 (kJ/m ² ・日) ÷ 34.600(kJ/L) = 1.4 (L/m ² ・日) 〔計算〕48.0 (kJ/m ² ・日) ÷ 36.700(kJ/L) = 1.3 (L/m ² ・日)	①天然ガス・エネルギー・オンライン」計画設計マニュアル2008」(住)日本エネルギー学会編、日本工業出版株式会社発行 ②③夏冬の節電マニュアル平成27年度(事業者の指針)「(経済産業省)」 ④TEPCO統合報告書2019(東京電力ホールディングス(株))p67 ⑤東京電力エコライフパートナー業務用電力料金内訳電力料金(HFP) http://www.tepco.co.jp/corporate/plan/hfp/plan06.html(R02.05.08掲載時点)

03 お昼休み、事務所照明をOFFにする、省エネモードにしたら	1.4 g-CO2/m ² ・日	電力消費の標準値:0.5178 kWh/m ² ・日…① 電力消費の内訳(空調を除く):照明46%…② 建物全体(延床面積)に対する節電効果:13%…③ 1日あたりの換気回数:0.77回…④ お昼休みの時間:0.77時間…⑤ お昼休みの換気係数:0.77時間…⑥ 電気の単価:16 円/kWh…⑦ 年間労働日数:250日/年	$0.5178(\text{kWh/m}^2\cdot\text{日}) \times 46(\%) \times 13(\%) \times 3(\%) = 1.4(\text{g-CO2/m}^2\cdot\text{日})$ $0.5178(\text{kWh/m}^2\cdot\text{日}) \times 46(\%) \times 13(\%) \times 3(\%) \times 16(\text{円/kWh}) \times 250(\text{日/年}) = 12.1(\text{円/m}^2\cdot\text{年})$ 〔計算〕0.5178(kWh/m ² ・日) × 46(%) × 13(%) × 9.970(kJ/kWh) = 33.1 (kJ/m ² ・日) 〔計算〕33.1 (kJ/m ² ・日) ÷ 34.600(kJ/L) = 0.96 (L/m ² ・日) 〔計算〕33.1 (kJ/m ² ・日) ÷ 36.700(kJ/L) = 0.9 (L/m ² ・日)	①「天然ガス・エネルギー・オンライン」計画設計マニュアル2008」(住)日本エネルギー学会編、日本工業出版株式会社発行 ②③夏冬の節電マニュアル平成27年度(事業者の指針)「(経済産業省)」 ④「換気回数」換気回数2019(東京電力ホールディングス(株))p87 ⑤「換気回数」換気回数2019(東京電力ホールディングス(株))p87 ⑥「換気回数」換気回数2019(東京電力ホールディングス(株))p87 ⑦東京電力エコライフパートナー業務用電力料金内訳電力料金(HFP) http://www.tepco.co.jp/corporate/plan/hfp/plan06.html(R02.05.08掲載時点)
	12.1 円/m ² ・年	熱量変換:1kWh=9.970kJ (一次エネルギー換算:夏間) 熱量変換:1kWh=239kcal ガソリン変換:1L=34.600MJ 灯油変換:1L=96.700MJ	〔計算〕0.5178(kWh/m ² ・日) × 46(%) × 13(%) × 9.970(kJ/kWh) = 33.1 (kJ/m ² ・日) 〔計算〕33.1 (kJ/m ² ・日) ÷ 34.600(kJ/L) = 0.96 (L/m ² ・日) 〔計算〕33.1 (kJ/m ² ・日) ÷ 36.700(kJ/L) = 0.9 (L/m ² ・日)	①天然ガス・エネルギー・オンライン」計画設計マニュアル2008」(住)日本エネルギー学会編、日本工業出版株式会社発行 ②③夏冬の節電マニュアル平成27年度(事業者の指針)「(経済産業省)」 ④「換気回数」換気回数2019(東京電力ホールディングス(株))p87 ⑤「換気回数」換気回数2019(東京電力ホールディングス(株))p87 ⑥「換気回数」換気回数2019(東京電力ホールディングス(株))p87 ⑦東京電力エコライフパートナー業務用電力料金内訳電力料金(HFP) http://www.tepco.co.jp/corporate/plan/hfp/plan06.html(R02.05.08掲載時点)
	30.1 kJ	電力消費の内訳(空調を除く):照明46%…① 建物全体(延床面積)に対する節電効果:13%…② 1日あたりの換気回数:0.77回…④ お昼休みの時間:0.77時間…⑤ お昼休みの換気係数:0.77時間…⑥ 電気の単価:16 円/kWh…⑦ 年間労働日数:250日/年	〔計算〕0.5178(kWh/m ² ・日) × 46(%) × 13(%) × 9.970(kJ/kWh) = 33.1 (kJ/m ² ・日) 〔計算〕33.1 (kJ/m ² ・日) ÷ 34.600(kJ/L) = 0.96 (L/m ² ・日) 〔計算〕33.1 (kJ/m ² ・日) ÷ 36.700(kJ/L) = 0.9 (L/m ² ・日)	①天然ガス・エネルギー・オンライン」計画設計マニュアル2008」(住)日本エネルギー学会編、日本工業出版株式会社発行 ②③夏冬の節電マニュアル平成27年度(事業者の指針)「(経済産業省)」 ④「換気回数」換気回数2019(東京電力ホールディングス(株))p87 ⑤「換気回数」換気回数2019(東京電力ホールディングス(株))p87 ⑥「換気回数」換気回数2019(東京電力ホールディングス(株))p87 ⑦東京電力エコライフパートナー業務用電力料金内訳電力料金(HFP) http://www.tepco.co.jp/corporate/plan/hfp/plan06.html(R02.05.08掲載時点)
	7.2 kcal	熱量変換:1kWh=9.970kJ (一次エネルギー換算:夏間) 熱量変換:1kWh=239kcal ガソリン変換:1L=34.600MJ 灯油変換:1L=96.700MJ	〔計算〕0.5178(kWh/m ² ・日) × 46(%) × 13(%) × 9.970(kJ/kWh) = 33.1 (kJ/m ² ・日) 〔計算〕33.1 (kJ/m ² ・日) ÷ 34.600(kJ/L) = 0.96 (L/m ² ・日) 〔計算〕33.1 (kJ/m ² ・日) ÷ 36.700(kJ/L) = 0.9 (L/m ² ・日)	①天然ガス・エネルギー・オンライン」計画設計マニュアル2008」(住)日本エネルギー学会編、日本工業出版株式会社発行 ②③夏冬の節電マニュアル平成27年度(事業者の指針)「(経済産業省)」 ④「換気回数」換気回数2019(東京電力ホールディングス(株))p87 ⑤「換気回数」換気回数2019(東京電力ホールディングス(株))p87 ⑥「換気回数」換気回数2019(東京電力ホールディングス(株))p87 ⑦東京電力エコライフパートナー業務用電力料金内訳電力料金(HFP) http://www.tepco.co.jp/corporate/plan/hfp/plan06.html(R02.05.08掲載時点)

04 手洗いや湯飲み等を洗面所に注ぎ流した	1.6 g-CO2/m ² ・日	前述:1人1日当たり分、節水(120L)とする。 オフィスの面積(m ²)当たり人数:0.2人/m ² …① CO2排出係数:1.2kg-CO2/m ³ の水の使用…② CO2排出係数:1.2kg-CO2/m ³ の水の使用…② CO2排出係数:1.2kg-CO2/m ³ の水の使用…② CO2排出係数:1.2kg-CO2/m ³ の水の使用…② CO2排出係数:1.2kg-CO2/m ³ の水の使用…② CO2排出係数:1.2kg-CO2/m ³ の水の使用…② CO2排出係数:1.2kg-CO2/m ³ の水の使用…② CO2排出係数:1.2kg-CO2/m ³ の水の使用…②	$0.2(\text{人/m}^2) \times 0.012(\text{m}^3/\text{人}\cdot\text{日}) \times 266(\text{g-CO2/m}^3) = 0.638(\text{g-CO2/m}^2\cdot\text{日})$ $0.2(\text{人/m}^2) \times 0.012(\text{m}^3/\text{人}\cdot\text{日}) \times 16(\text{円/kWh}) \times 250(\text{日/年}) = 154.2(\text{円/m}^2\cdot\text{年})$ 〔計算〕0.2(人/m ²) × 0.012(m ³ /人・日) × 266 (g-CO2/m ³) = 0.638 (g-CO2/m ² ・日) 〔計算〕0.638 (g-CO2/m ² ・日) × 16 (円/kWh) × 250 (日/年) = 154.2 (円/m ² ・年)	④「事業概要 令和元年版 参考資料1 統計資料」(東京都水道局)p157 ⑤「統計報告書2019 2019年10月発行」(東京都水道局)p11 ⑥「下水道局環境-エネルギー報告書 平成29年度」(東京都下水道局)p3
	154.2 円/m ² ・年	熱量変換:1kWh=9.970kJ (一次エネルギー換算:夏間) 熱量変換:1kWh=239kcal ガソリン変換:1L=34.600MJ 灯油変換:1L=96.700MJ	〔計算〕0.2(人/m ²) × 0.012(m ³ /人・日) × 266 (g-CO2/m ³) = 0.638 (g-CO2/m ² ・日) 〔計算〕0.638 (g-CO2/m ² ・日) × 16 (円/kWh) × 250 (日/年) = 154.2 (円/m ² ・年)	④「事業概要 令和元年版 参考資料1 統計資料」(東京都水道局)p157 ⑤「統計報告書2019 2019年10月発行」(東京都水道局)p11 ⑥「下水道局環境-エネルギー報告書 平成29年度」(東京都下水道局)p3
	3.6 kcal	熱量変換:1kWh=9.970kJ (一次エネルギー換算:夏間) 熱量変換:1kWh=239kcal ガソリン変換:1L=34.600MJ 灯油変換:1L=96.700MJ	〔計算〕0.2(人/m ²) × 0.012(m ³ /人・日) × 266 (g-CO2/m ³) = 0.638 (g-CO2/m ² ・日) 〔計算〕0.638 (g-CO2/m ² ・日) × 16 (円/kWh) × 250 (日/年) = 154.2 (円/m ² ・年)	④「事業概要 令和元年版 参考資料1 統計資料」(東京都水道局)p157 ⑤「統計報告書2019 2019年10月発行」(東京都水道局)p11 ⑥「下水道局環境-エネルギー報告書 平成29年度」(東京都下水道局)p3
	0.4 ml	熱量変換:1kWh=9.970kJ (一次エネルギー換算:夏間) 熱量変換:1kWh=239kcal ガソリン変換:1L=34.600MJ 灯油変換:1L=96.700MJ	〔計算〕0.2(人/m ²) × 0.012(m ³ /人・日) × 266 (g-CO2/m ³) = 0.638 (g-CO2/m ² ・日) 〔計算〕0.638 (g-CO2/m ² ・日) × 16 (円/kWh) × 250 (日/年) = 154.2 (円/m ² ・年)	④「事業概要 令和元年版 参考資料1 統計資料」(東京都水道局)p157 ⑤「統計報告書2019 2019年10月発行」(東京都水道局)p11 ⑥「下水道局環境-エネルギー報告書 平成29年度」(東京都下水道局)p3

令和2年度事業所用エコライフチェック項目の計算根拠

※目的の数値の算出に関しては、小数点第2位を四捨五入している

計算は小数点第2位を四捨五入
昼間電力は9:22時
夜間電力は22:8時

項目	CO ₂ 削減率算出		条件(丸数字は出典番号)	計算過程 上段:CO ₂ 削減量 下段:年間節約金額	出典
	CO ₂ 削減率算出 (g-CO ₂ /m ² ・日) (円/m ² ・年) 削減率算出 (%)	削減率算出 (円/m ² ・年)			
05 冷房の設定温度を2℃上げ た	7.7	g-CO ₂ /m ² ・日	前提:空調設定温度を2℃上げたとする。 熱負荷(冷房)の削減率:0.4205kW/m ² ・日...① 削減率(冷房)の削減率:0.4205kW/m ² ・日...② CO ₂ 排出係数:0.455g-CO ₂ /kWh...③ 電気の単価:18円/kWh...④ 年間労働日数:250日/年	0.4205(kWh/m ² ・日) × 4(%) × 455(g-CO ₂ /kWh) = 77.7(g-CO ₂ /m ² ・日)	①天然ガスエネルギーシミュレーション計画:設計マニユアル2008 ②(社)日本エネルギー協会編:日本工業出版株式会社発行 ③「EPECQ総合報告書2019」(東京電力ホールディングス株式会社) ④東京電力ホールディングス「コーポレート・ガバナンス」(2019年) http://www.tepco.co.jp/corp/corporate/plan_h/plan06.html(R02.05.08確認時点)
	67.3	円/m ² ・年		0.4205(kWh/m ² ・日) × 4(%) × 18(円/kWh) × 250(日/年) = 67.3(円/m ² ・年)	
	40.1	kcal	・熱量変換:1kWh=9,970kJ(一次エネルギー換算:感度) ・CO ₂ 削減率:167.7(kJ/日) × 0.239(kcal/kJ) = 40.1(kcal/日)	【換算】0.4205(kWh/m ² ・日) × 4(%) × 9,970(kJ/kWh) = 167.7(kJ/m ² ・日)	SI単位換算表/OHM ELECTRIC
	4.8	ml	・ガソリン変換:1L=34,600kJ ・灯油変換:1L=36,700kJ	【ガソリン換算】167.7(kJ/日) ÷ 34,600(kJ/L) = 0.0048(L) = 4.8(ml) 【灯油換算】167.7(kJ/日) ÷ 36,700(kJ/L) = 0.0046(L) = 4.6(ml)	「エネルギーの合理的な利用に関する法律 省エネ法の概要(平成29年度)」p39 「エネルギーの合理的な利用に関する法律 省エネ法の概要(平成29年度)」p39 「エネルギーの合理的な利用に関する法律 省エネ法の概要(平成29年度)」p39
06 紙の使用を減らして紙を減らした	0.6	g-CO ₂ /m ² ・日	1人1枚の換算量(紙)として仮定① 紙の枚数(H30):22,910,000枚 紙の生産に係るCO ₂ 排出係数(H30):17,390,000g-CO ₂ /t...① A4用紙1枚の重量:4g...② オフィスの面積(㎡)当たり人員数:0.2人/㎡...③ 紙の最高数量(H29):14,173,431t...④ 紙の販売金額(H29):1,720,898百万円...④ 年間労働日数:250日/年	【紙:パルプ産業のエネルギー事情 2019年度】(日本製紙連合会)p7-8 ②参考サイト http://blog.dtic.co.jp/mt/mail/archives/20090323/110200.html ③「紙:パルプ産業のエネルギー事情 2019年度」(日本製紙連合会) ④「統計表」(経済産業省生産動態統計) 年報(紙)「平成29年」(経済産業省)	
	24.3	円/m ² ・年		4(g/枚・人) × 0.2(人/㎡) × 1,720,898(万円) ÷ 14,173,431(t) × 250(日/年) = 24.3(円/m ² ・年)	
	8.0	kJ	・紙の生産に係る化石燃料消費量(H30):229,000,000,000.000kJ...① ・熱量変換:1kJ=0.239kcal	【換算】229,000,000,000.000(kJ) ÷ 22,910,000(t) × 4(g/枚) × 0.2(人/㎡) = 8.0(kJ/日)	SI単位換算表/OHM ELECTRIC
	0.2	ml	・ガソリン変換:1L=34,600kJ ・灯油変換:1L=36,700kJ	【ガソリン換算】8.0(kJ/日) × 0.239(kcal/kJ) = 1.9(kcal/日) 【灯油換算】8.0(kJ/日) ÷ 34,600(kJ/L) = 0.0002(L) = 0.2(ml) 【灯油換算】8.0(kJ/日) ÷ 36,490(kJ/L) = 0.0002(L) = 0.2(ml)	「エネルギーの合理的な利用に関する法律 省エネ法の概要(平成29年度)」p39 「エネルギーの合理的な利用に関する法律 省エネ法の概要(平成29年度)」p39 「エネルギーの合理的な利用に関する法律 省エネ法の概要(平成29年度)」p39
07 自動車の利用 頻にエコライ ブ(ゆるやかな アクセル操作 ※)やアイドリング ストップ(※)を しました	732.9	g-CO ₂ /台・日	日当たり走行距離(ガソリン車:主に業務人員輸送)H30:25.25km/台・日 エコドライブ(ガソリン車:主に業務人員輸送)H30:0.125ℓ/km...① 燃料使用量削減効果の目安:10%...② 排出係数(ガソリン):2,322g-CO ₂ /ℓ...③ ガソリン単価:118.5円/ℓ...④ 年間労働日数:250日/年	25.25(km/台・日) × 0.125(ℓ/km) × 2,322(g-CO ₂ /ℓ) × 10(%) = 732.9(g-CO ₂ /台・日)	①自動車燃費消費量統計年報 平成30年度分 第10表 業種別・目的別 原単位及び削減率(国土交通省)「エコドライブ」(省エネルギーセンター) ②燃料使用量削減効果の目安:10%の削減率(国土交通省) ③石油製品価格調査 4. 卸価格(ガソリン:軽油・灯油)「エコドライブ」価格 平成31年1~12月平均(一般財団法人日本エネルギー経済研究所 石油情報センター) ④「エコドライブ」の合理的な利用に関する法律 省エネ法の概要(平成29年度)」p39
	9,350	円/台・年		25.25(km/台・日) × 0.125(ℓ/km) × 118.5(円/ℓ) × 10(%) × 250(日/年) = 9,350.4(円/台・年)	
	10,528.4	kJ	・ガソリン変換:1L=33,380kJ ・熱量変換:1kJ=0.239kcal	【換算】9,350.4(円/台・年) × 1,000(kcal/円) = 10,528.4(kJ/m ² ・日)	SI単位換算表/OHM ELECTRIC
	2,516.3	kcal		【換算】10,528.4(kJ/日) × 0.239(kcal/kJ) = 2,516.3(kcal/日)	

削減率(冷房)の削減率:0.4205kW/m²・日...②
CO₂排出係数:0.455g-CO₂/kWh...③
電気の単価:18円/kWh...④
年間労働日数:250日/年

紙の最高数量(H29):14,173,431t...④
紙の販売金額(H29):1,720,898百万円...④
年間労働日数:250日/年

日当たり走行距離(ガソリン車:主に業務人員輸送)H30:25.25km/台・日
エコドライブ(ガソリン車:主に業務人員輸送)H30:0.125ℓ/km...①
燃料使用量削減効果の目安:10%...②
排出係数(ガソリン):2,322g-CO₂/ℓ...③
ガソリン単価:118.5円/ℓ...④
年間労働日数:250日/年

※1:最初の9秒で20km/hになるくらいゆっくりアクセル操作
※2:アイドリングストップ(※)をしました

注) 04:水運単位の換算:業務所(倉庫型)、朝霞、木下(等)の単位換算当たりのエネルギーの削減率
05:業務所の日当たり削減量:800ℓ/人・日=0.08m³/人・日 出典:空気調和・衛生工学会改訂11版第3巻(社団法人 空気調和・衛生工学会) p.80
06:1人1枚の換算量(紙)として仮定:29日/月
07:換算(紙)の削減率:削減率算出係数:8.5人(※参考:練馬区統計年報 令和元年度(2019年度))、8.52(経済センサス)から区内総事業所数:20,278事業所、総従業員数:172,477人(いずれも平成26年6月1日現在)より、172,477人÷20,278事業所=8.51人/事業所(当8.5人/事業所)
1:事業所の平均水運使用量(=紙)×(ℓ/台・日)×(人/台・日)×(22日/月)×(8.5人/事業所)×(15,000ℓ/月) = 0.08m³/人・日 × 22日/月 × 8.5人 = 15,000ℓ/月
ここで、水運使用量15,000ℓ/月に対する東京都の水運料金設定(https://www.waterworks.metro.tyos.jp/tetsudoku/nyokin/keisan_23.html)(スターター一口径20~25mmに相当)は、水運料金128円/m³、下水料金110円/m³であり、両者の和238円/m³に消費税を乗じた257円/m³が水道代単価となる。



令和2年度エコライフチェック事業報告書
ー ストップ!地球温暖化 ねりま大作戦 2020 ー

令和3年3月

練馬区民環境行動連絡会

練馬区環境部環境課

〒176-8501 練馬区豊玉北 6-12-1
03-5984-4705 (直通)

この事業は、「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の助成金を受けて実施しました。

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。